

文教常任委員会資料

令和5年9月15日

(2023年)

教育委員会事務局学校教育課

令和5年度京都府学力・学習状況調査～学びのパスポート～の結果について

標記の件について、次のとおり報告します。

## 令和5年度京都府学力・学習状況調査～学びのパスポート～の結果について

### 1 京都府学力・学習状況調査～学びのパスポート～の目的

学習指導要領に示す目標や内容に照らした学習の実現状況及び児童生徒の学習環境や家庭における生活状況等の特徴や課題など、児童生徒の「認知能力の伸び」と「非認知能力の変容」を継続的に把握します。その伸びや変容に影響を与える諸要因を客観的データに基づき分析・考察し、個別最適な学びと協働的な学びを実現する教員の指導力等についての有用な情報を得ることにより指導上の課題を明らかにして、授業改善を推進し、確かな学力をはぐくむ。

### 2 概要

(1) 実施日時：令和5年5月15日（月）～5月26日（金）

(2) 実施対象学年

ア 小学校（4年生・5年生・6年生）

イ 中学校（1年生・2年生・3年生）

(3) 問題内容及び問題数

ア 国語、算数・数学

英語（中学2年と3年）

イ 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問調査

### 3 結果の活用

(1) 城陽市学力向上等推進委員会専門部会にて学力分析を行い、「授業改善」及び、「家庭学習」のあり方について研鑽を深める。

(2) 城陽市教育委員会では、今回の結果とこれまでの結果を併せて成果と課題を明確にし、それらの活用による指導の改善・充実に向けた取組を進めていく。

### 4 結果の概要

京都府平均と比較すると、小学校では、全ての学年で国語が下回ったが、算数では全ての学年で平均以上となった。中学校は、中3生の国語と数学で上回ったものの、他の学年・教科は平均以下となった。

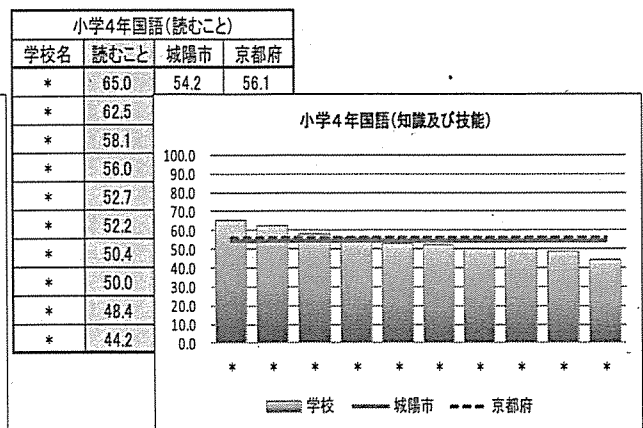
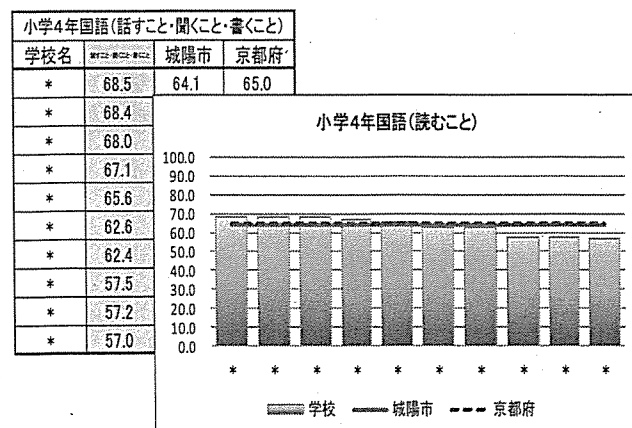
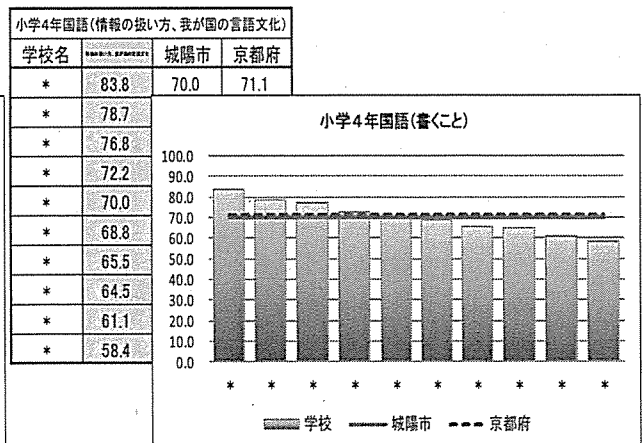
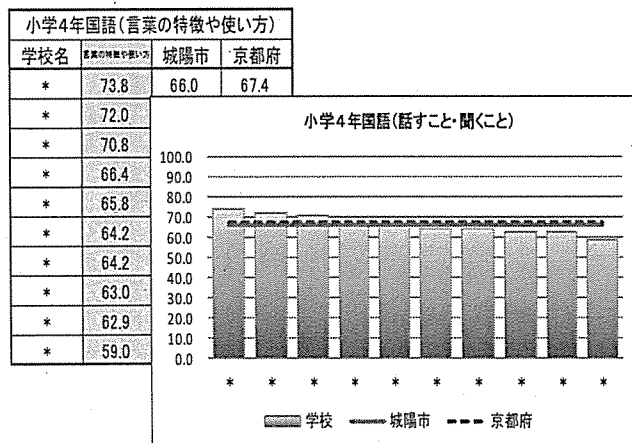
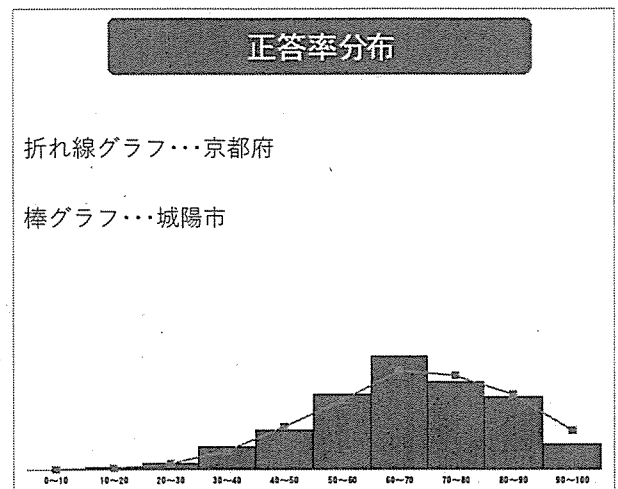
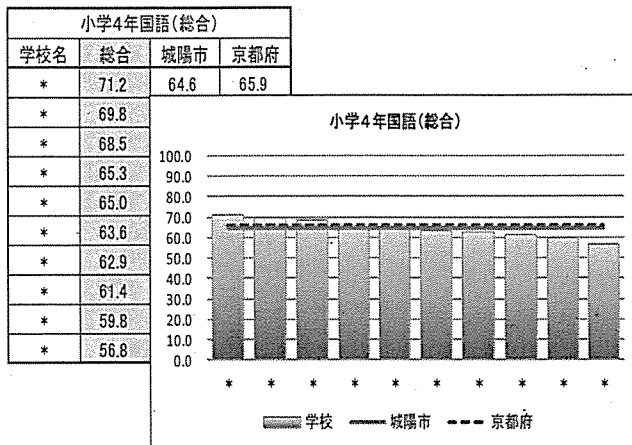
質問調査では、授業内容をふり返り、学習目標の達成度を考えている児童生徒が多く、授業改善の成果が見られた。一方で、学年が上がるに伴い、スマートフォン等を学習以外に使用する時間が長くなっており、就寝時間等も含めて基本的な生活習慣に課題が残った。

## 5 各教科の結果

### (1) 国語／小学4年

- ・「総合」では、京都府の平均と比較して、1.3ポイント下回る結果となりました。特に「読むこと」の領域では、1.9ポイント下回っており、課題が見られます。
- ・正答率分布では、やや中低位層の割合が多くなっています。
- ・国語科の基礎基本となる漢字や語彙を身に付けさせ、また、授業中に子ども一人一人の主体的な言語活動（読む・書く・話す・聞く）が充実するよう、各校の実態を踏まえ、授業改善を行うことが必要です。

#### <結果の状況>

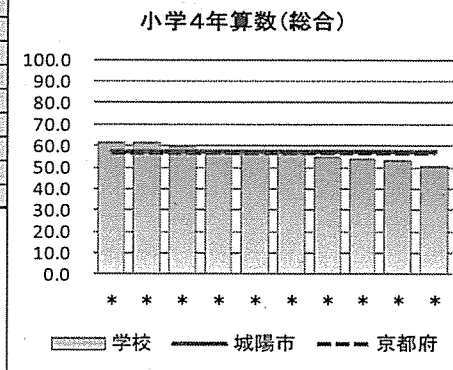


(2) 算数／小学4年

- ・「総合」では、京都府の平均と比較して、0.3ポイント上回る結果となりました。特に、「データの活用」の領域では、1.4ポイント上回りました。
- ・正答率分布では、やや中上位層の割合が多くなっています。
- ・今後も、基礎基本の定着のためのシステムを各校の実態や状況に応じて充実させていくことが大切です。また、数学的活動を通して算数の楽しさやよさに気づかせ、筋道を立てて考察する力を養うことができるよう授業改善が必要です。

<結果の状況>

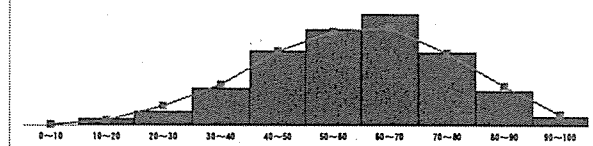
小学4年算数(総合)			
学校名	総合	城陽市	京都府
*	61.7	57.2	56.9
*	61.2		
*	59.6		
*	58.4		
*	57.4		
*	57.1		
*	54.5		
*	54.2		
*	53.4		
*	50.2		



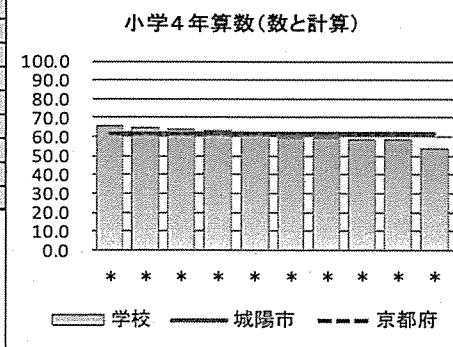
正答率分布

折れ線グラフ・・・京都府

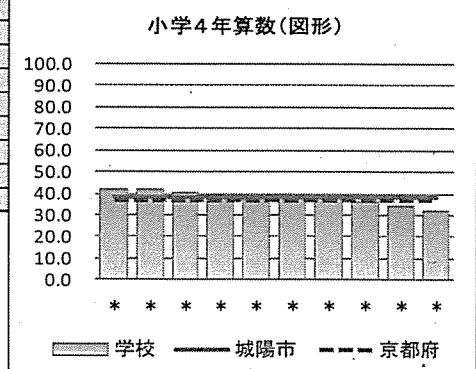
棒グラフ・・・城陽市



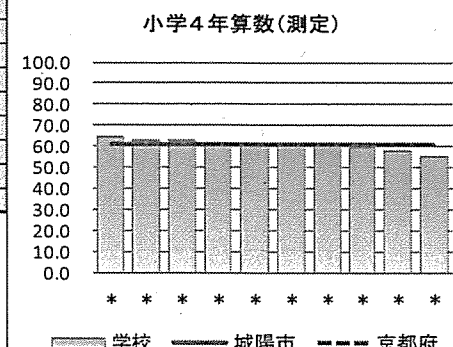
小学4年算数(数と計算)			
学校名	数と計算	城陽市	京都府
*	65.8	61.4	61.3
*	64.7		
*	64.4		
*	62.9		
*	62.0		
*	59.4		
*	59.0		
*	58.8		
*	58.6		
*	53.7		



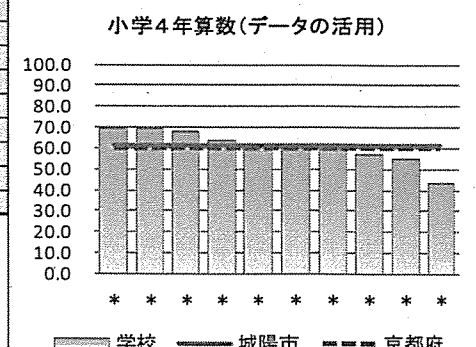
小学4年算数(図形)			
学校名	図形	城陽市	京都府
*	42.1	38.1	37.1
*	41.7		
*	40.5		
*	39.7		
*	38.8		
*	38.7		
*	38.7		
*	36.4		
*	33.9		
*	32.4		



小学4年算数(変化と関係)			
学校名	変化と関係	城陽市	京都府
*	64.6	60.7	60.7
*	63.4		
*	63.0		
*	61.7		
*	60.7		
*	60.1		
*	59.9		
*	59.4		
*	57.9		
*	55.3		



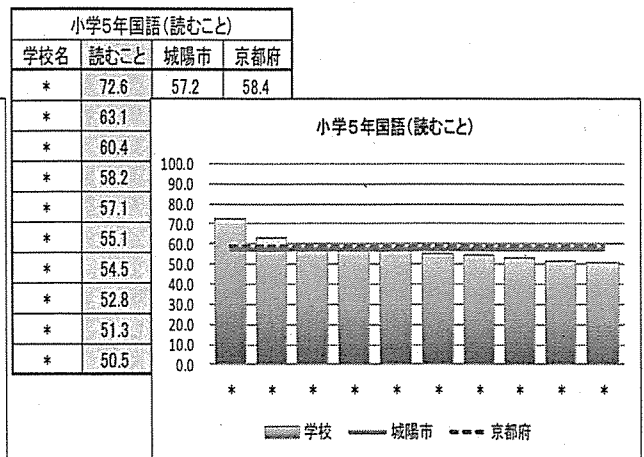
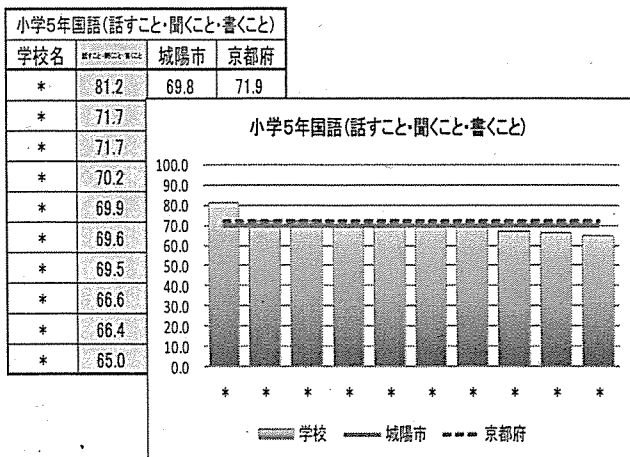
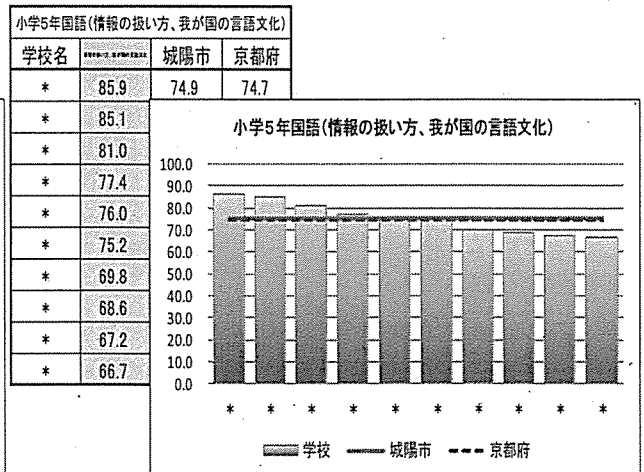
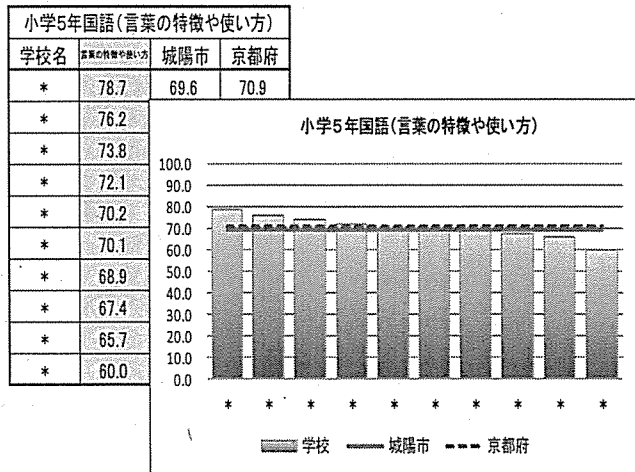
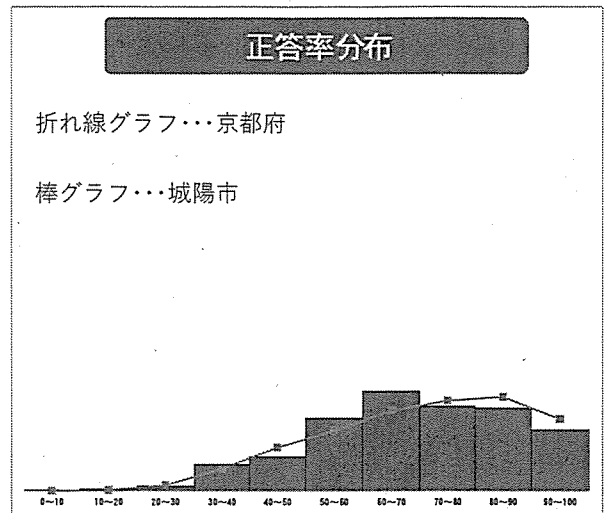
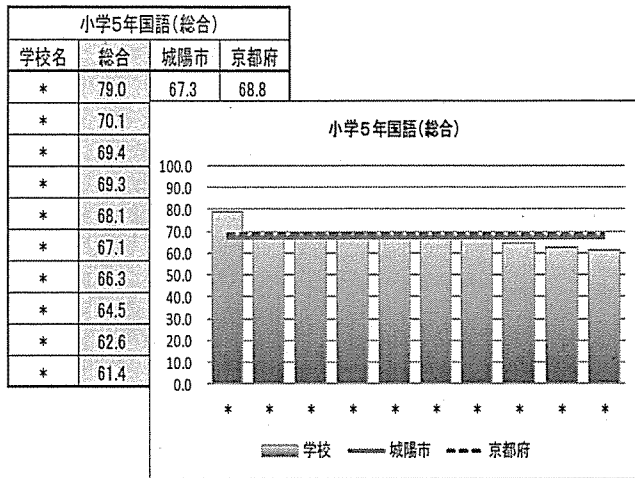
小学4年算数(データの活用)			
学校名	データの活用	城陽市	京都府
*	69.6	61.2	59.8
*	69.6		
*	67.7		
*	63.5		
*	60.3		
*	59.8		
*	59.0		
*	56.9		
*	54.6		
*	43.5		



(3) 国語／小学5年

- ・「総合」では、京都府の平均と比較して、1.5ポイント下回る結果となりました。特に「話すこと・聞くこと・書くこと」については2.1ポイント下回っており、課題が見られました。
- ・正答率分布では、中低位層の割合が少しが多くなっています。
- ・今後も漢字や文法などの基礎基本を定着させる取組を大切に、すべての子どもが主体的に学習できるように、授業展開を工夫することが大切です。

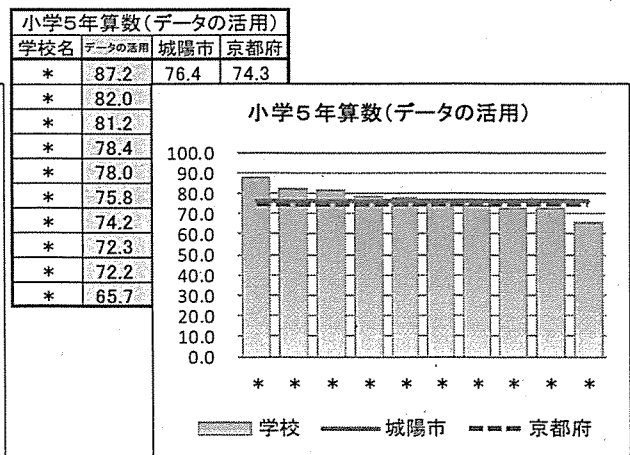
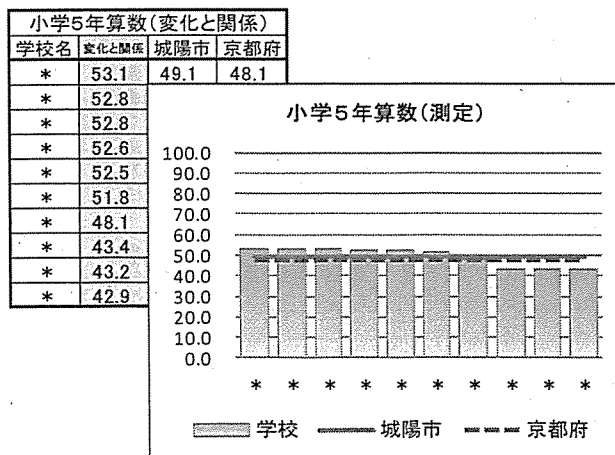
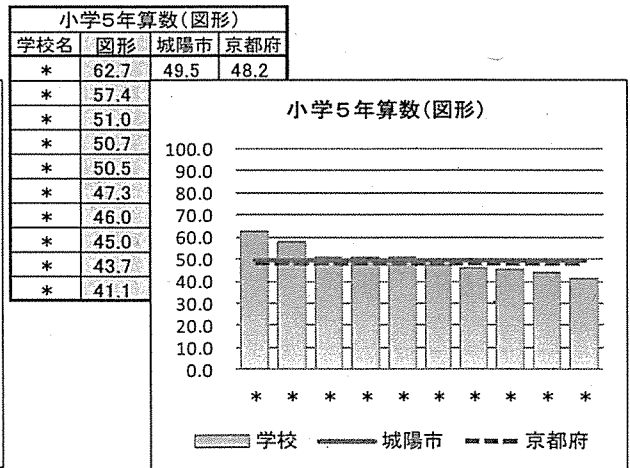
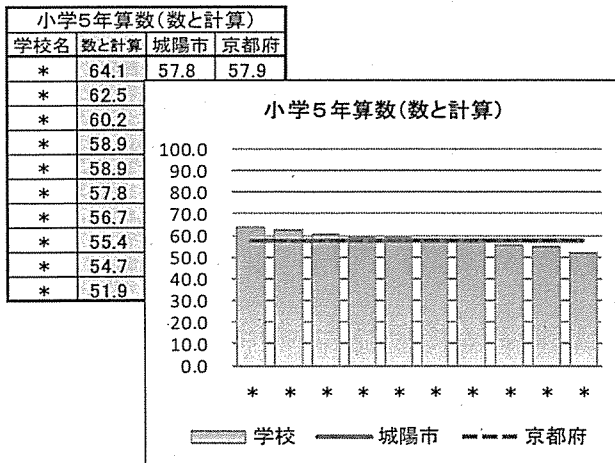
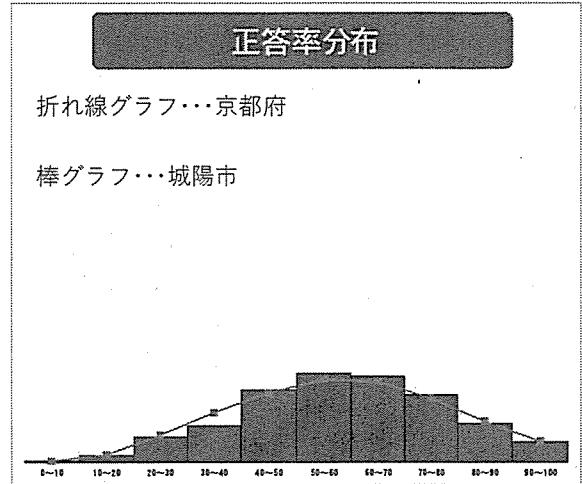
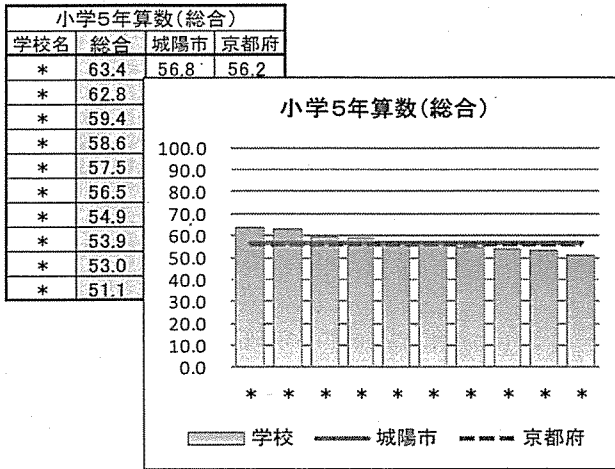
<結果の状況>



(4) 算数／小学5年

- ・「総合」では、京都府の平均と比較して、0.6ポイント上回っており、特に「データの活用」の領域では、2.1ポイント上回りました。
- ・正答率分布では、中位層から中上位層の割合がやや多くなっています。
- ・中位層や中上位層の子ども達がさらに理解を深めることができるよう、これまでよりも発展的な課題に取り組ませるなどの授業改善が大切です。

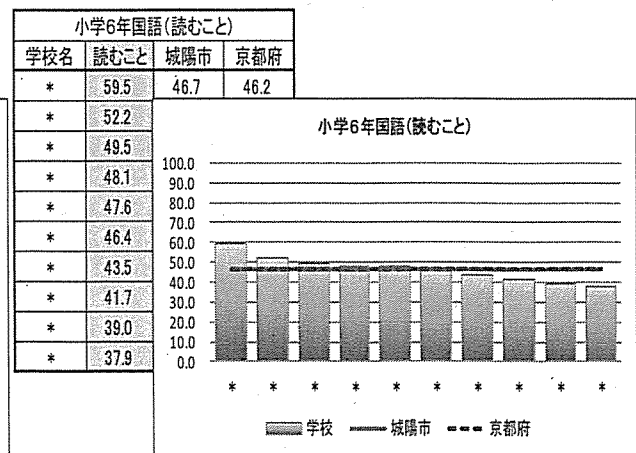
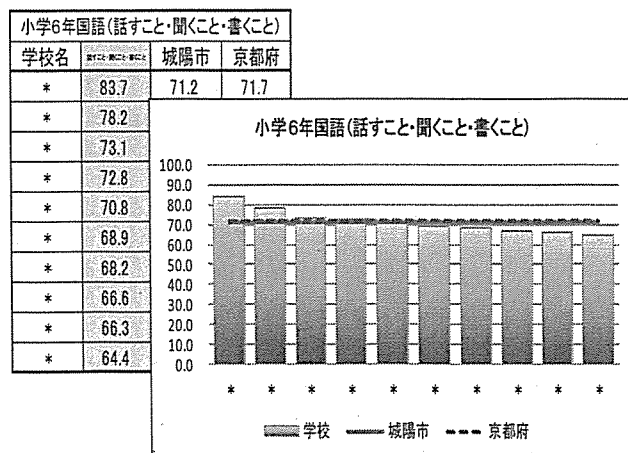
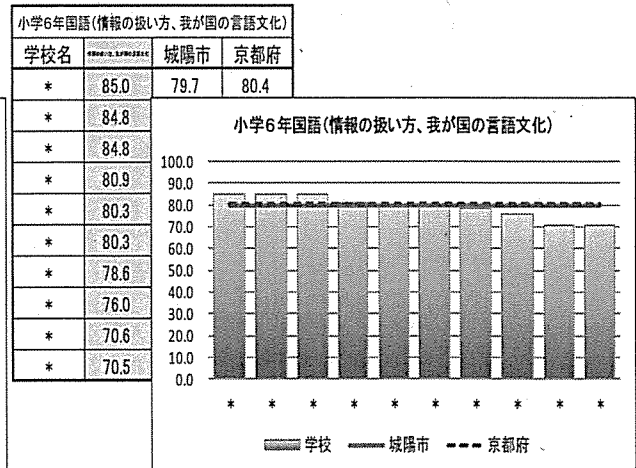
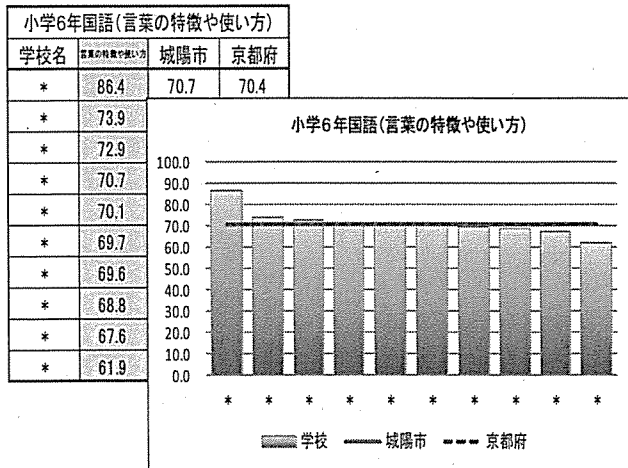
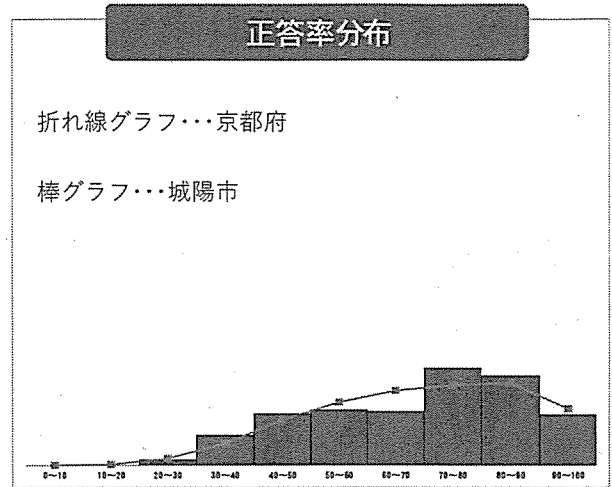
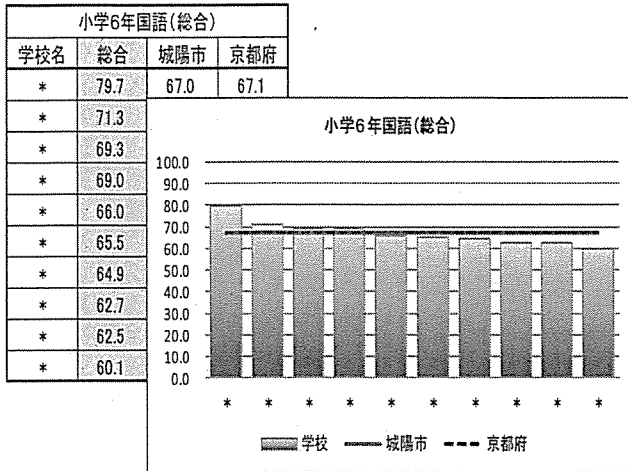
<結果の状況>



(5) 国語／小学6年

- ・「総合」では、京都府の平均と比較して、0.1ポイント下回る結果になりました。「情報の扱い方、我が国の言語文化」の領域では、0.7ポイント下回っており、課題となっています。
- ・正答率分布では、中上位層と中低位層が少し多く、やや二極化しています。
- ・漢字や文法などの基礎基本の定着を図りながら、文章から考えたことを交流したり、議論するなど、より主体的で深い学びにつながるような授業改善が大切です。

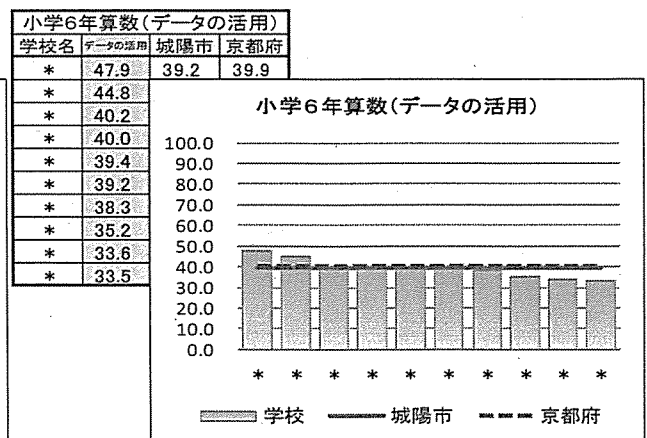
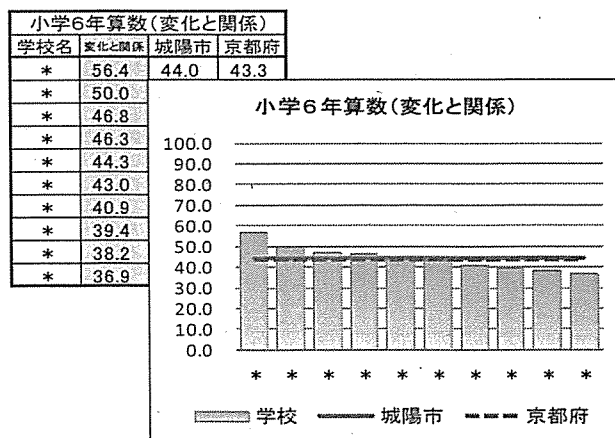
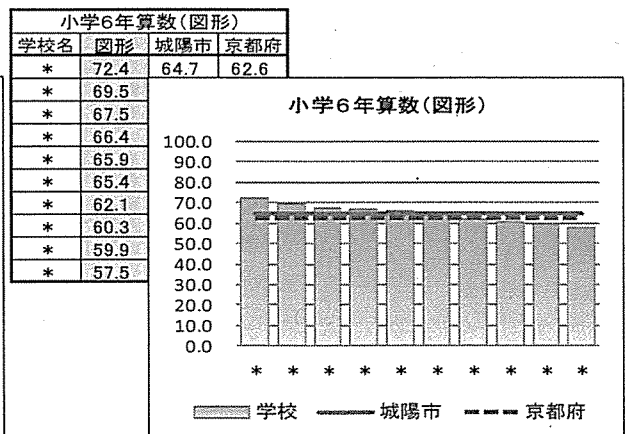
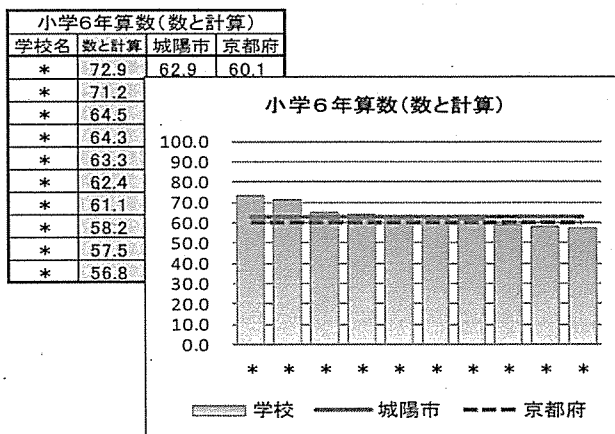
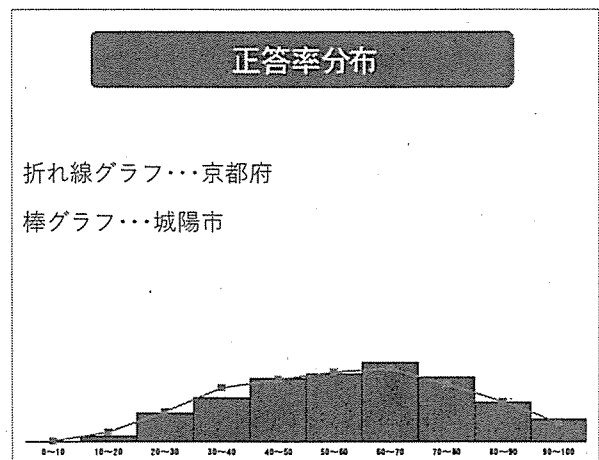
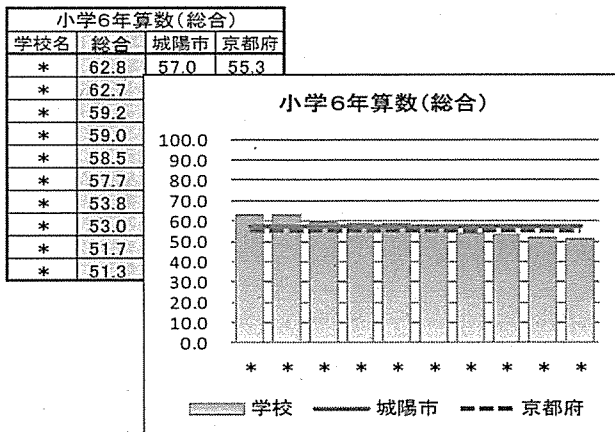
<結果の状況>



(6) 算数/小学6年

- ・「総合」では、京都府の平均と比較して、1.7ポイント上回っており、特に「数と計算」の領域では、2.8ポイント上回り、各校における計算等の基礎基本の定着に向けた取組の成果であると考えられます。
- ・正答率分布では、京都府と比較すると、中位層から中上位層の割合がやや多くなっています。
- ・各学校における取組をさらに強化し、また中上位層の子ども達をさらに伸ばしていくことができるような指導の工夫が求められます。

<結果の状況>



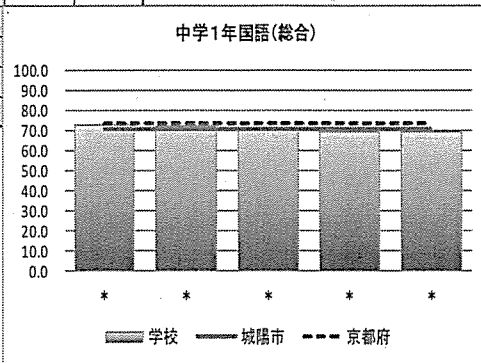


(7) 国語／中学1年

- ・「総合」では、京都府の平均と比較して、2.5ポイント下回る結果となりました。特に「話すこと・聞くこと・書くこと」では、3.5ポイント下回っています。
- ・正答率分布では、中低位層の割合が多くなっています。
- ・漢字や文法などの基礎基本の定着を図るとともに、子ども一人一人の主体的な言語活動（読む・書く・話す・聞く）が充実するよう、授業改善を行う必要があります。

<結果の状況>

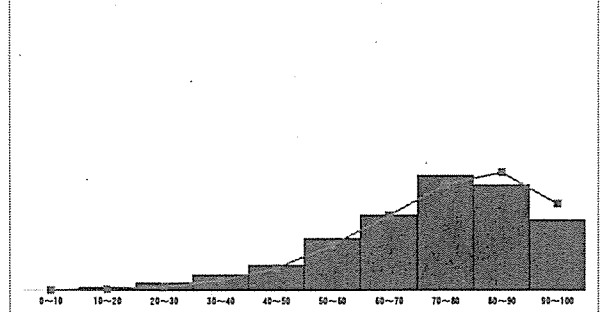
中学1年国語(総合)			
学校名	総合	城陽市	京都府
*	72.5	70.8	73.3
*	71.5		
*	71.0		
*	69.2		
*	69.1		



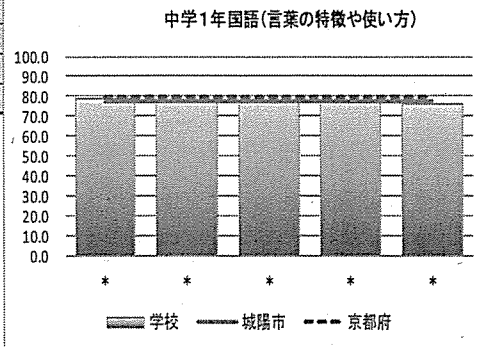
正答率分布

折れ線グラフ・・・京都府

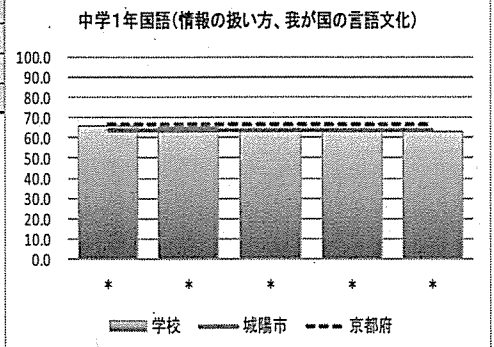
棒グラフ・・・城陽市



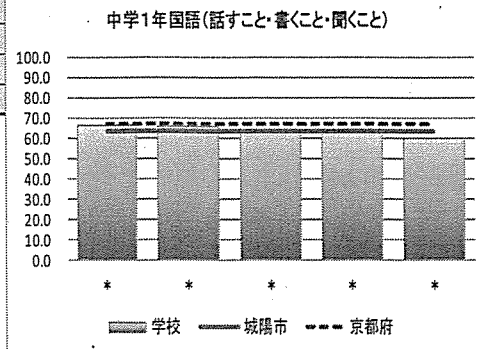
中学1年国語(言葉の特徴や使い方)			
学校名	言葉の特徴や使い方	城陽市	京都府
*	78.9	77.7	79.9
*	78.2		
*	78.0		
*	76.9		
*	76.3		



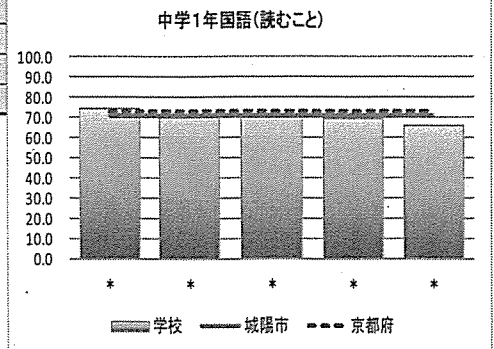
中学1年国語(情報の扱い方、我が国の言語文化)			
学校名	情報の扱い方、我が国の言語文化	城陽市	京都府
*	66.1	64.1	66.4
*	64.9		
*	63.5		
*	63.3		
*	62.8		



中学1年国語(話すこと・書くこと・聞くこと)			
学校名	話すこと・書くこと・聞くこと	城陽市	京都府
*	66.1	63.6	67.1
*	65.4		
*	64.1		
*	62.5		
*	59.5		



中学1年国語(読むこと)			
学校名	読むこと	城陽市	京都府
*	74.5	71.0	73.1
*	71.8		
*	71.5		
*	69.3		
*	65.8		

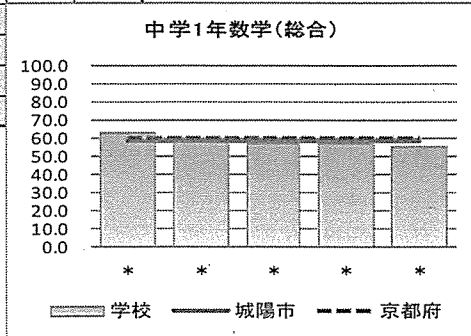


(8) 数学/中学1年

- ・「総合」では、京都府の平均と比較して、1.8ポイント下回る結果となりました。特に「図形」の領域で2.2ポイント、「データの活用」で2.1ポイント下回っており、課題となっています。
- ・正答率分布では、低位層の割合がやや多くなっています。
- ・今後、さらに基礎学力定着のためのシステムを充実していくことが大切です。客観的なデータから検証を行い、個に応じた改善案を作成していくことが求められます。

<結果の状況>

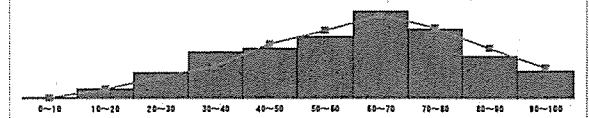
中学1年数学(総合)			
学校名	総合	城陽市	京都府
*	62.7	58.0	59.8
*	57.8		
*	56.7		
*	56.5		
*	55.2		



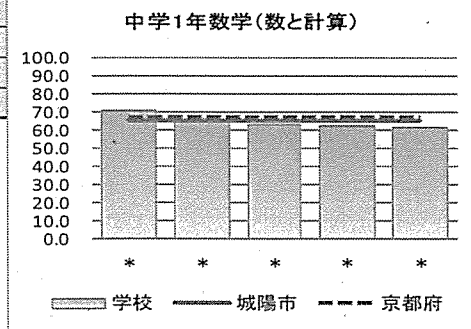
正答率分布

折れ線グラフ・・・京都府

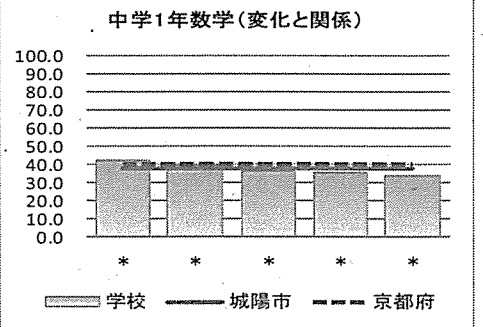
棒グラフ・・・城陽市



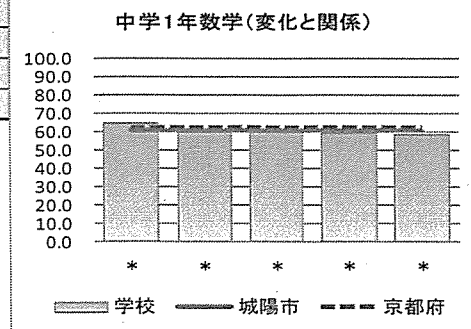
中学1年数学(数と計算)			
学校名	数と計算	城陽市	京都府
*	70.6	64.9	66.6
*	65.9		
*	62.9		
*	62.3		
*	61.2		



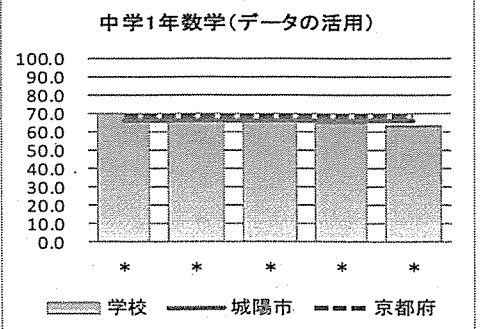
中学1年数学(図形)			
学校名	図形	城陽市	京都府
*	42.4	37.9	40.1
*	39.1		
*	36.1		
*	35.8		
*	33.8		



中学1年数学(変化と関係)			
学校名	変化と関係	城陽市	京都府
*	64.2	60.7	61.7
*	60.6		
*	60.5		
*	59.3		
*	58.4		



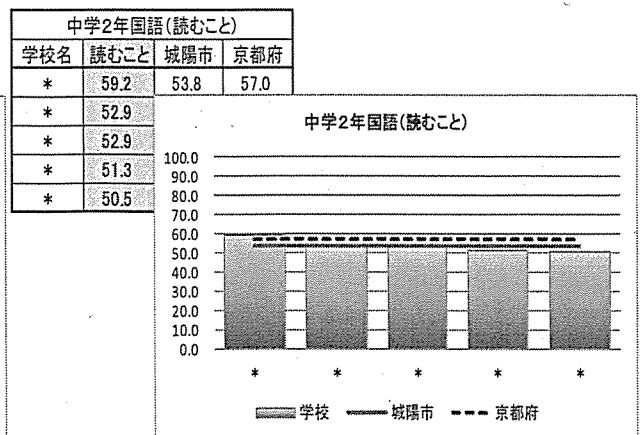
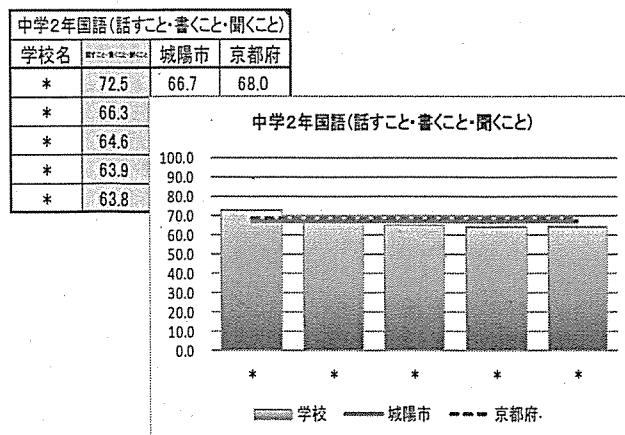
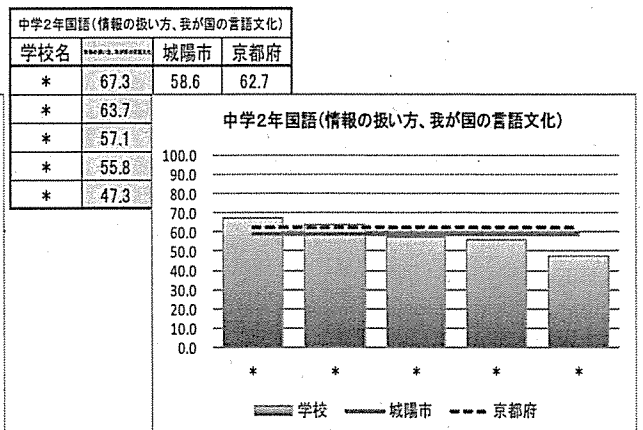
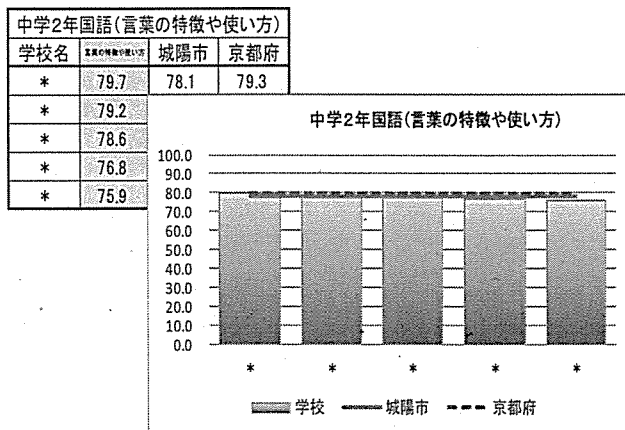
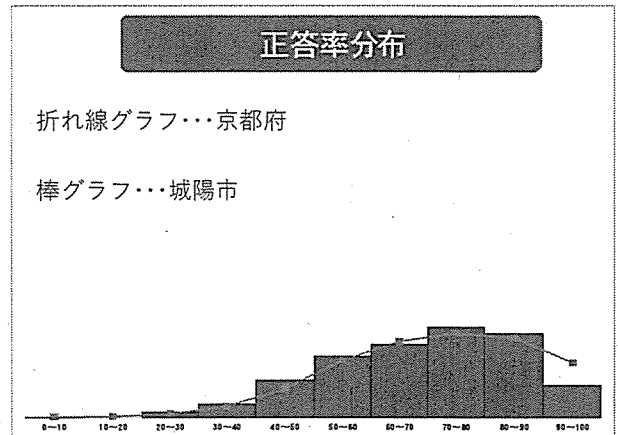
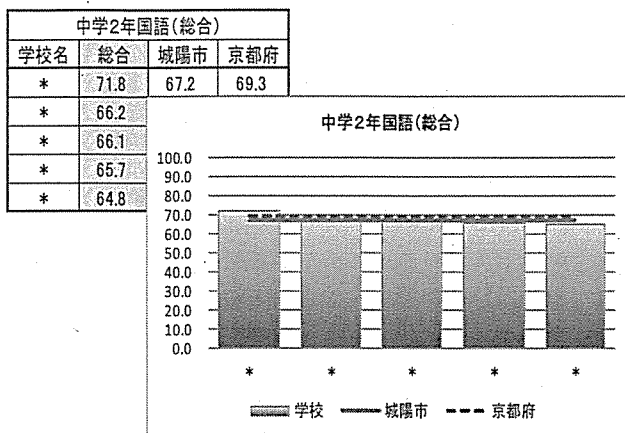
中学1年数学(データの活用)			
学校名	データの活用	城陽市	京都府
*	70.4	66.2	68.3
*	66.9		
*	65.2		
*	64.6		
*	63.5		



(9) 国語／中学2年

- ・「総合」では、京都府の平均と比較して、2.1ポイント下回る結果となりました。特に「情報の扱い方、我が国の言語文化」、「読むこと」で、それぞれ4.1ポイント、3.2ポイント下回っており、課題となっています。
- ・正答率分布では、上位層が少なく、低位層が多い状況です。
- ・各学校で進めている読書活動の取組を充実させるとともに、すべての子どもが主体的に学習することができるよう工夫し、言語活動（読む・書く・話す・聞く）を充実させることが大切です。

<結果の状況>

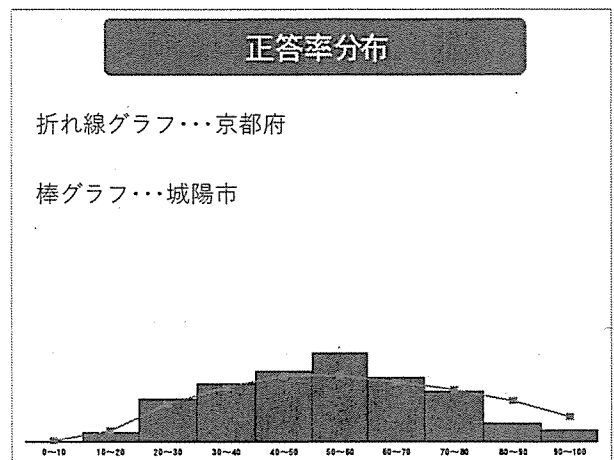
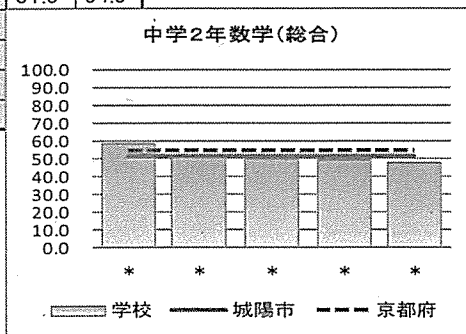


(10) 数学／中学2年

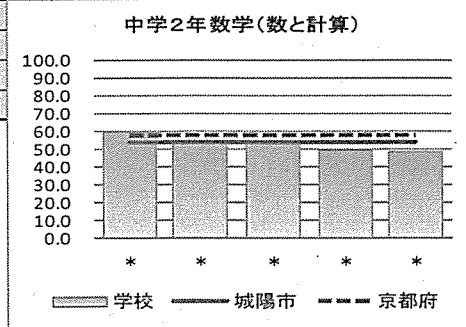
- ・「総合」では、京都府の平均と比較して、3.0ポイント下回っています。特に「図形」の領域において、4.9ポイント下回っており、課題となっています。
- ・正答率分布では、中位層から下位層の割合が多くなっています。
- ・各学校で進めている基礎基本の定着への取組を充実させていくことと、一人一人の学力の実態を分析し丁寧に支援することが求められます。また授業では数学的活動を通して知識・技能を身に付けさせるよう指導することが大切です。

<結果の状況>

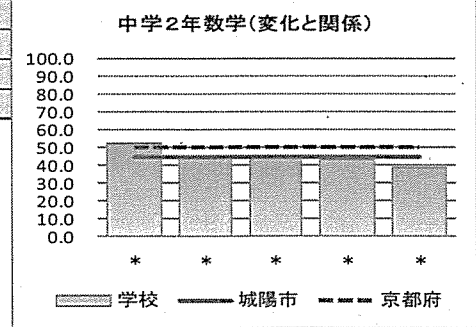
中学2年数学(総合)			
学校名	総合	城陽市	京都府
*	58.2	51.5	54.5
*	50.3		
*	49.7		
*	48.9		
*	47.6		



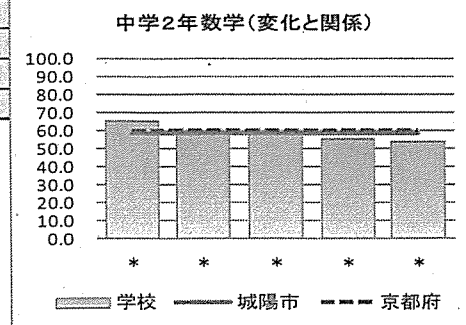
中学2年数学(数と計算)			
学校名	数と計算	城陽市	京都府
*	60.1	53.4	57.7
*	54.2		
*	52.6		
*	48.7		
*	48.5		



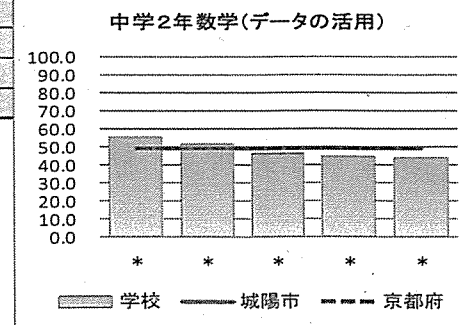
中学2年数学(図形)			
学校名	図形	城陽市	京都府
*	52.5	45.0	49.9
*	43.9		
*	43.7		
*	43.6		
*	39.0		



中学2年数学(変化と関係)			
学校名	変化と関係	城陽市	京都府
*	65.0	58.4	60.1
*	58.3		
*	57.9		
*	55.5		
*	53.4		



中学2年数学(データの活用)			
学校名	データの活用	城陽市	京都府
*	55.3	49.2	49.6
*	51.7		
*	46.6		
*	45.0		
*	44.2		

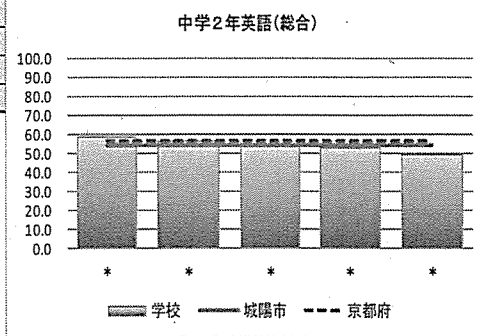


(11) 英語／中学2年

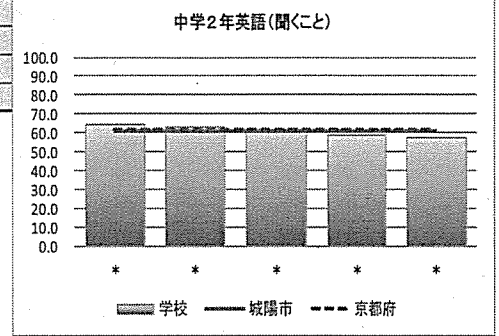
- ・「総合」では、京都府の平均と比較して、2.0ポイント下回る結果となりました。特に「書くこと」の領域においては、4.5ポイント下回っており、課題となっています。
- ・正答率分布では、低位層がやや多くなっています。
- ・コミュニケーションの場を多く設定するなどして、英語に親しみを持たせることが大切です。また、「聞くこと・話すこと・書くこと」の言語活動をバランス良く取り入れ、主体的に英語を用いて話したり書いたりしようとする態度が育つよう授業改善が求められます。

<結果の状況>

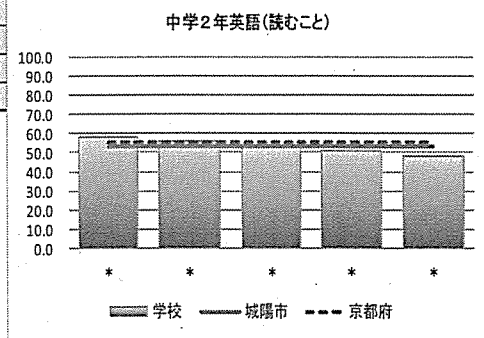
学校名	総合	城陽市	京都府
*	58.7	54.0	56.0
*	56.4		
*	53.7		
*	52.7		
*	49.0		



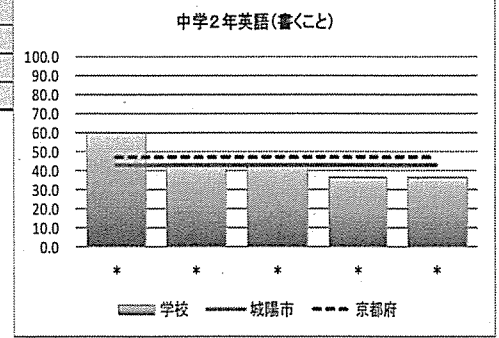
学校名	聞くこと	城陽市	京都府
*	64.5	61.2	61.8
*	63.2		
*	61.3		
*	58.5		
*	57.1		



学校名	読むこと	城陽市	京都府
*	58.4	53.4	55.4
*	56.1		
*	53.1		
*	51.4		
*	48.1		



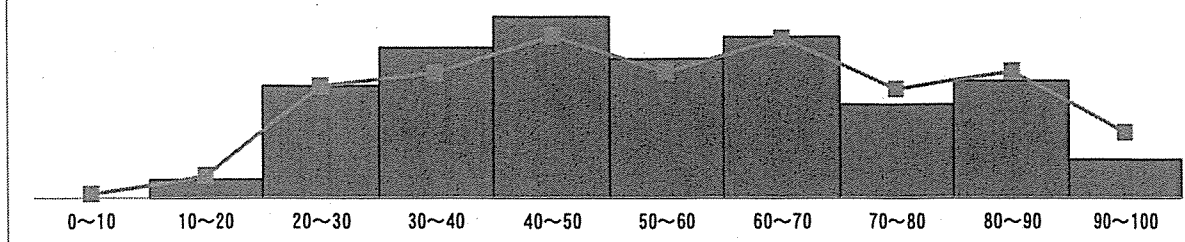
学校名	書くこと	城陽市	京都府
*	59.8	42.7	47.2
*	43.3		
*	42.5		
*	36.5		
*	36.1		



正答率分布

折れ線グラフ…京都府

棒グラフ…城陽市

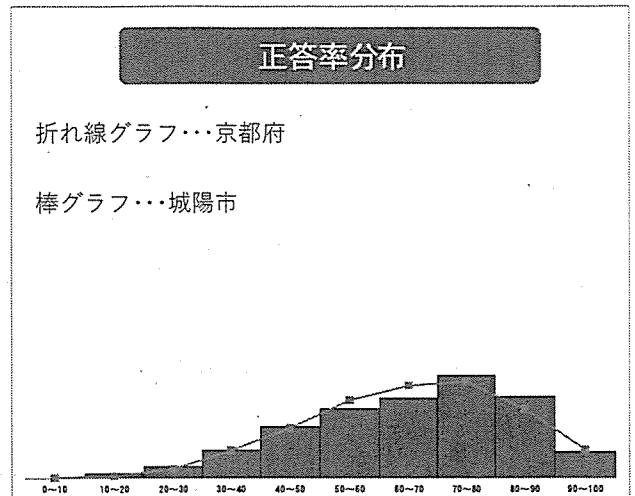
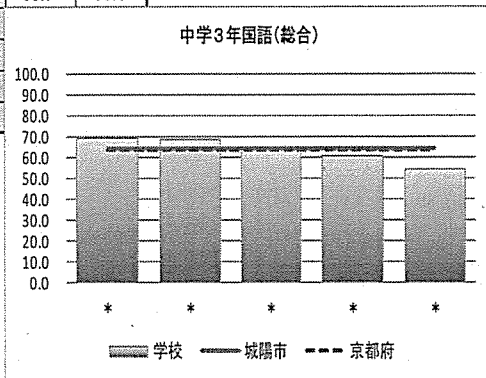


(12) 国語／中学3年

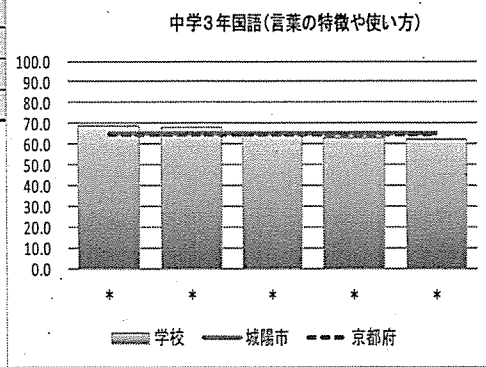
- ・「総合」では、0.3ポイント、上回る結果となっています。特に「情報の扱い方、我が国の言語文化」の領域では、1.2ポイント上回っています。
- ・正答率分布では、やや上位層が多くなっています。
- ・今後も基礎基本の定着を図る取組を進めながら、授業では言語活動（読む・書く・話す・聞く）を充実させるよう授業を工夫していくことが大切です。

<結果の状況>

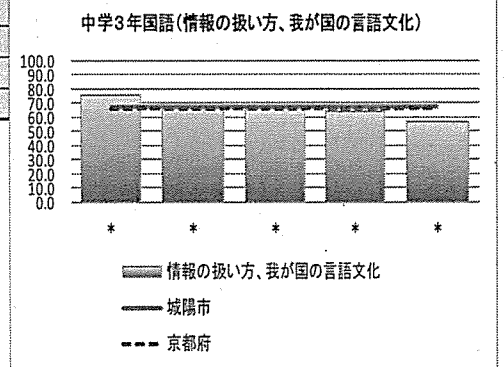
中学3年国語(総合)			
学校名	総合	城陽市	京都府
*	69.3	63.7	63.4
*	68.0		
*	64.2		
*	60.8		
*	54.2		



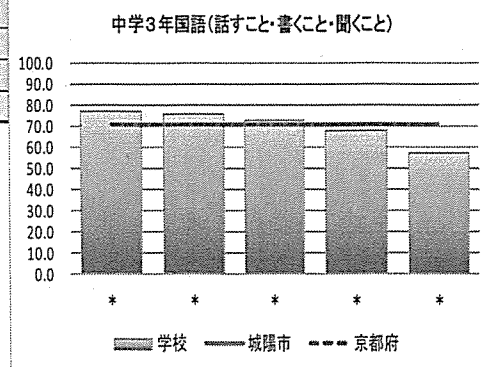
中学3年国語(言葉の特徴や使い方)			
学校名	言葉の特徴や使い方	城陽市	京都府
*	69.0	65.3	64.4
*	67.8		
*	64.6		
*	63.4		
*	62.0		



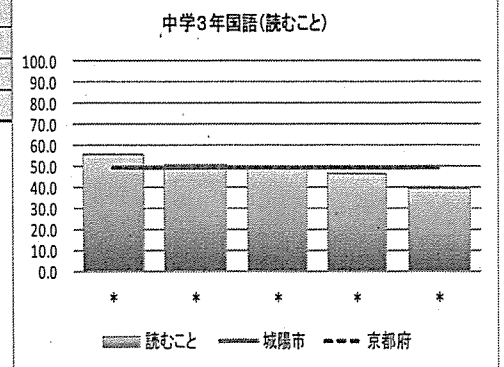
中学3年国語(情報の扱い方、我が国の言語文化)			
学校名	情報の扱い方、我が国の言語文化	城陽市	京都府
*	75.5	67.0	65.8
*	70.4		
*	65.9		
*	63.6		
*	57.1		



中学3年国語(話すこと・書くこと・聞くこと)			
学校名	話すこと・書くこと・聞くこと	城陽市	京都府
*	77.1	70.4	70.3
*	75.7		
*	72.3		
*	67.8		
*	56.6		



中学3年国語(読むこと)			
学校名	読むこと	城陽市	京都府
*	56.1	49.1	49.6
*	51.0		
*	49.8		
*	46.5		
*	39.0		

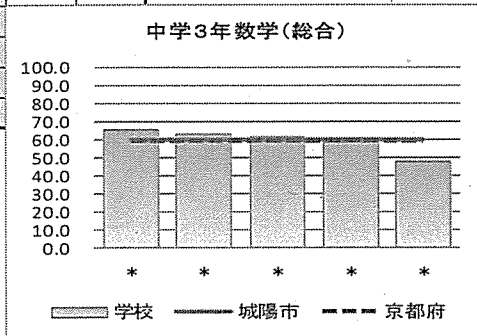


(13) 数学／中学3年

- ・「総合」では、京都府の平均と比較して、0.9ポイント上回っており、特に「数と計算」の領域で2ポイント上回っています。
- ・正答率分布では、中上位層の割合が多くなっています。
- ・中上位層の子ども達のをさらに伸ばすために、数学的な「見方・考え方」を働かせ、発展的に考察する力を養う授業改善が大切です。

<結果の状況>

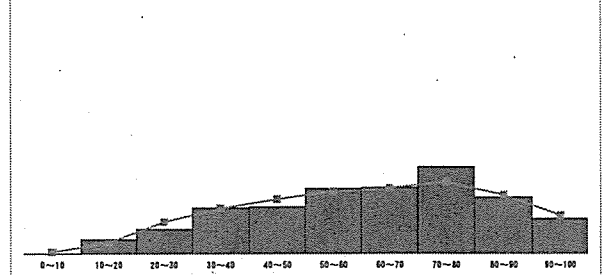
中学3年数学(総合)			
学校名	総合	城陽市	京都府
*	65.4	59.6	58.7
*	62.9		
*	61.3		
*	57.9		
*	47.3		



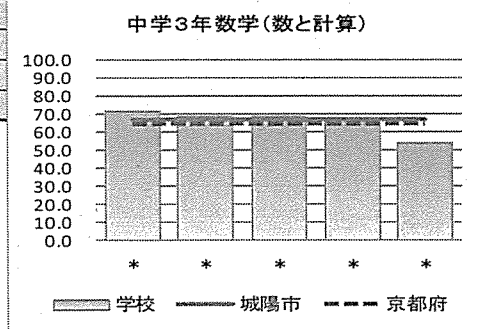
正答率分布

折れ線グラフ・・・京都府

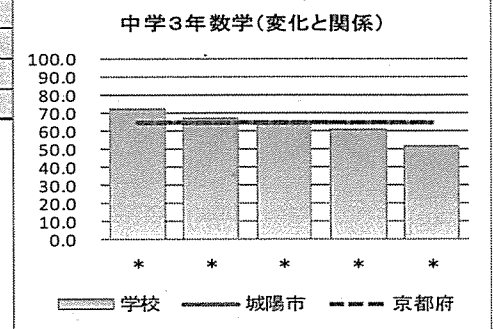
棒グラフ・・・城陽市



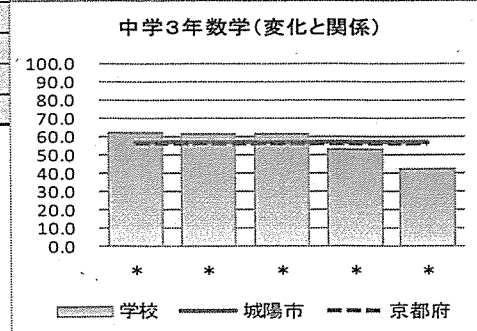
中学3年数学(数と計算)			
学校名	数と計算	城陽市	京都府
*	71.6	66.5	64.5
*	68.5		
*	68.5		
*	66.4		
*	53.6		



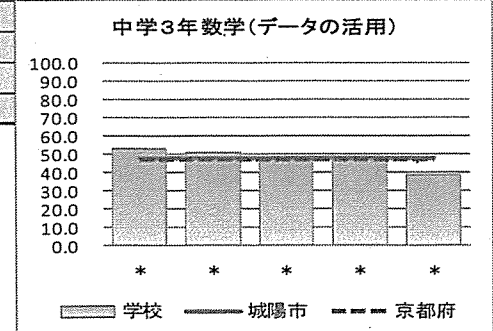
中学3年数学(図形)			
学校名	図形	城陽市	京都府
*	72.0	64.2	64.4
*	67.2		
*	65.7		
*	60.8		
*	51.7		



中学3年数学(変化と関係)			
学校名	変化と関係	城陽市	京都府
*	62.1	56.4	55.7
*	61.2		
*	60.9		
*	52.7		
*	41.8		



中学3年数学(データの活用)			
学校名	データの活用	城陽市	京都府
*	53.4	48.0	47.4
*	51.1		
*	47.3		
*	47.2		
*	38.8		

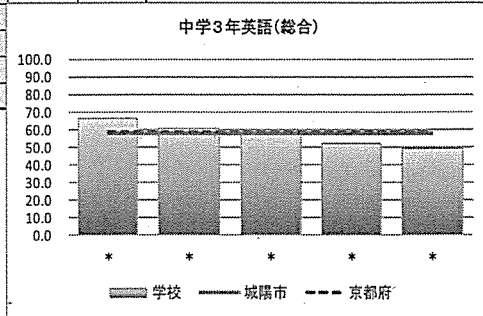


(14) 英語／中学3年

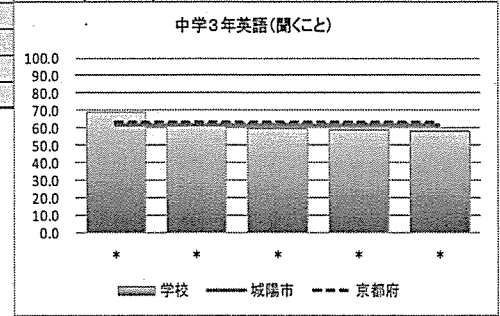
- ・「総合」では、0.8ポイント下回る結果となりました。特に「聞くこと」の領域では、1.4ポイント下回り、課題が見られます。
- ・正答率分布では、低位層がやや多くなっています。
- ・英語でのコミュニケーションの場を多く設定するなどして、英語に親しみを持たせることが大切です。また、英語による「聞くこと・話すこと・書くこと」の言語活動をバランス良く取り入れ、主体的に英語を用いて話したり書いたりする態度が育つよう授業改善が求められます。

<結果の状況>

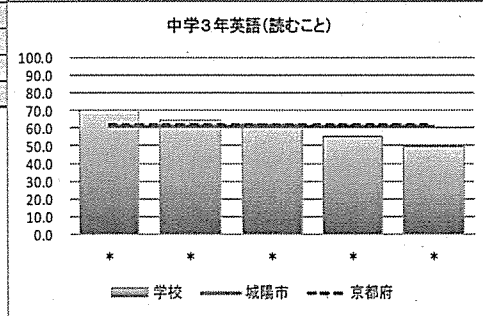
学校名	総合	城陽市	京都府
*	66.1	57.6	58.4
*	60.6		
*	57.5		
*	52.2		
*	48.8		



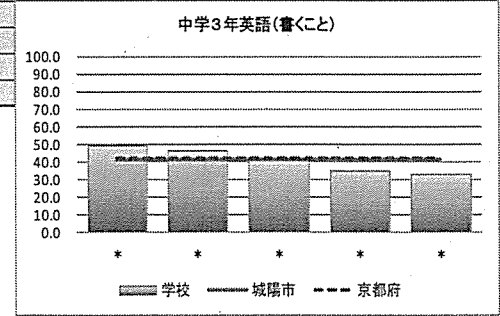
学校名	聞くこと	城陽市	京都府
*	68.8	61.7	63.1
*	62.0		
*	59.6		
*	58.8		
*	57.8		



学校名	読むこと	城陽市	京都府
*	70.4	61.3	61.8
*	64.7		
*	62.7		
*	55.3		
*	49.4		



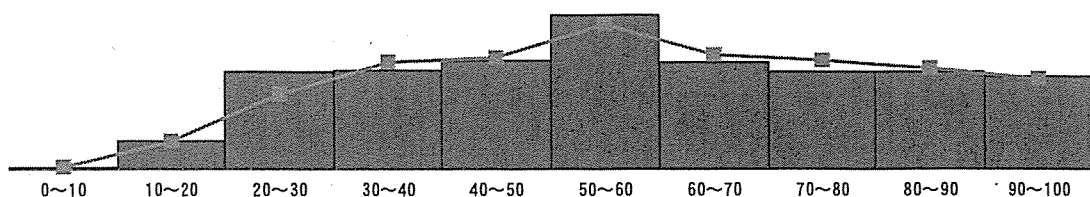
学校名	書くこと	城陽市	京都府
*	49.3	41.0	42.0
*	46.3		
*	40.2		
*	35.0		
*	32.9		



正答率分布

折れ線グラフ・・・京都府

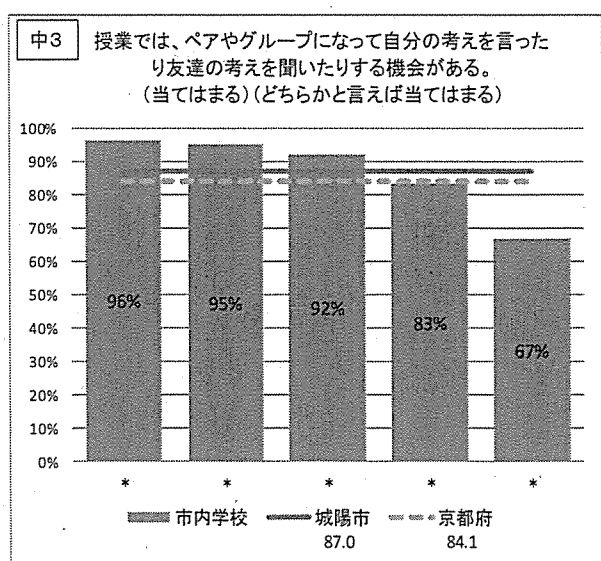
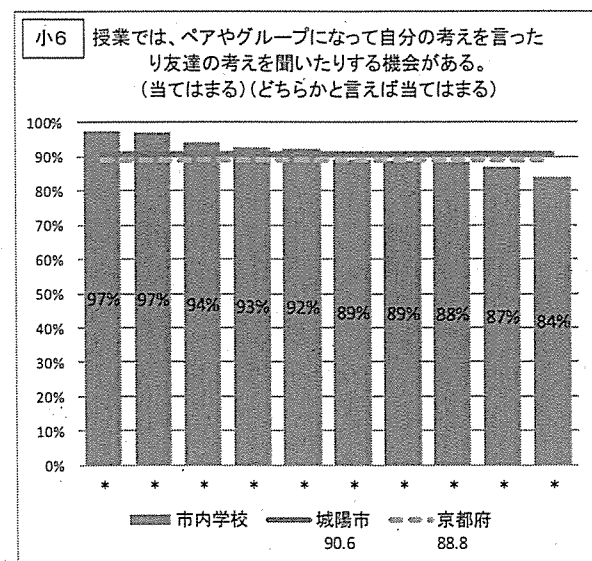
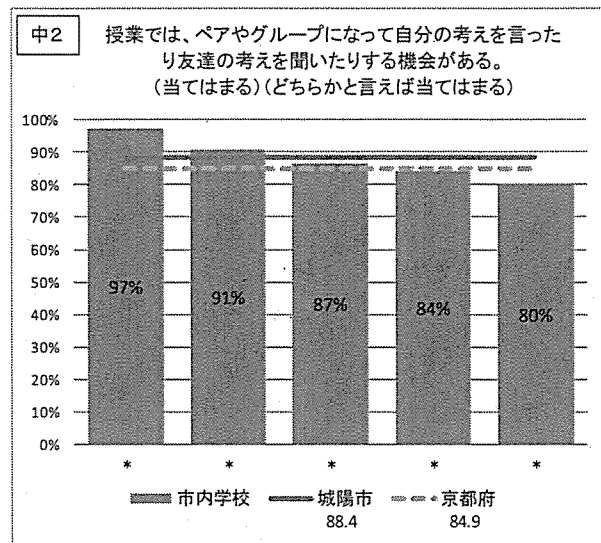
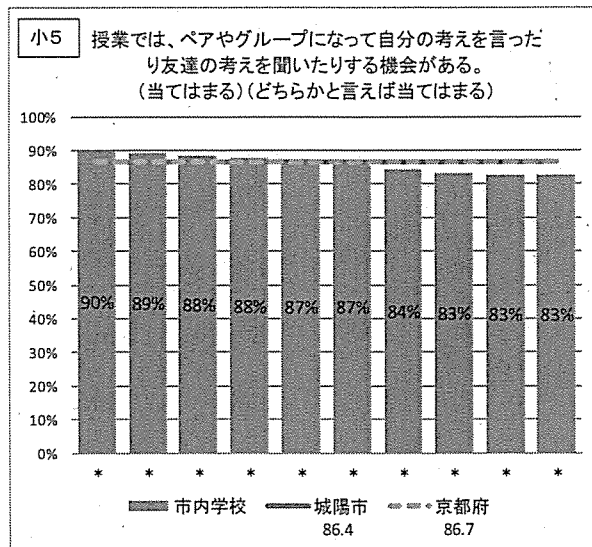
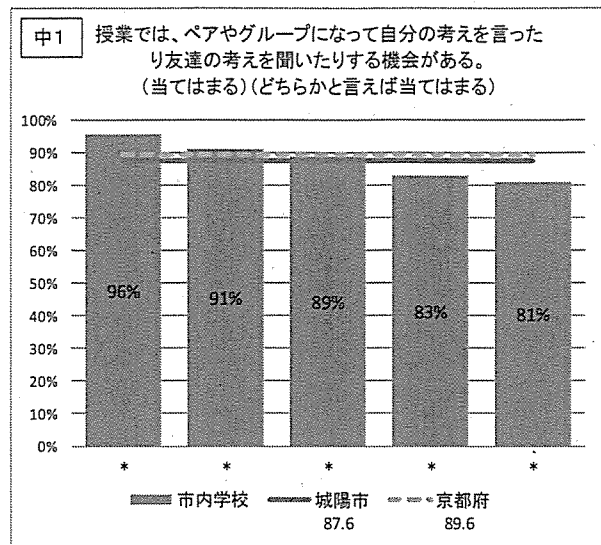
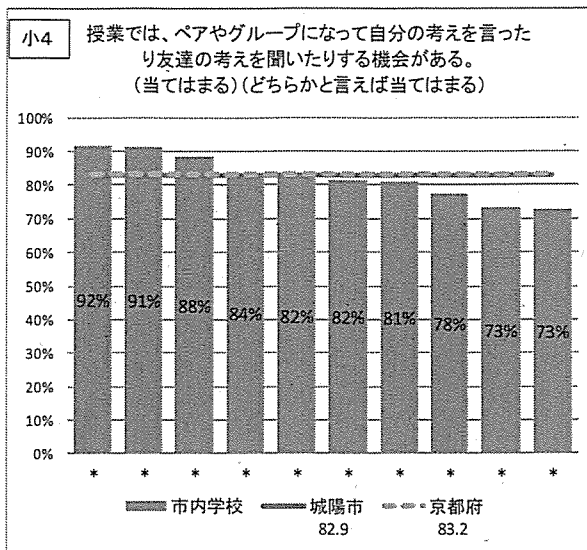
棒グラフ・・・城陽市

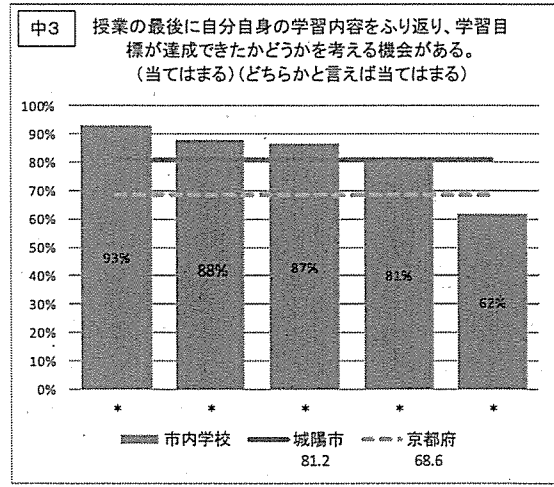
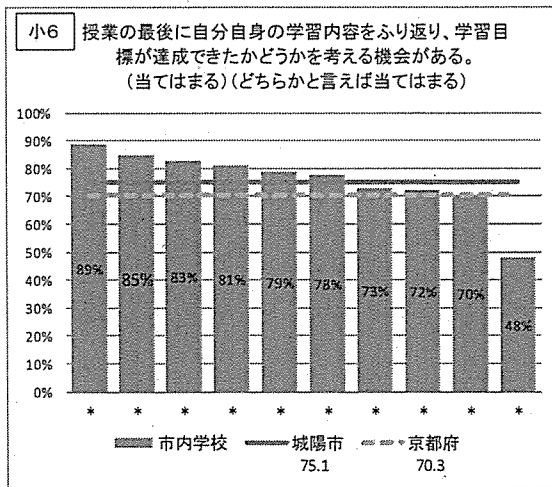
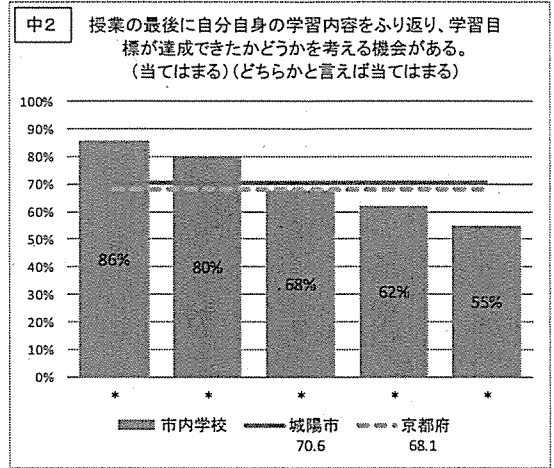
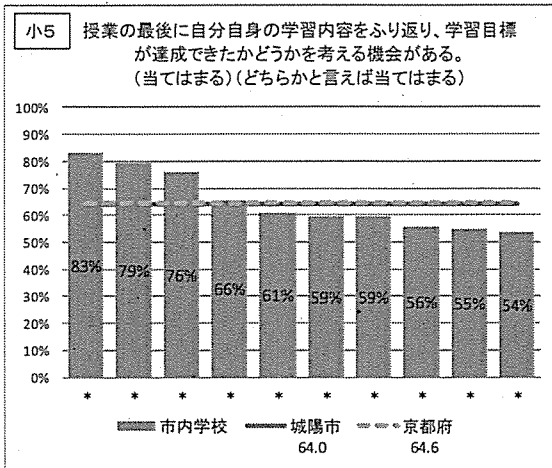
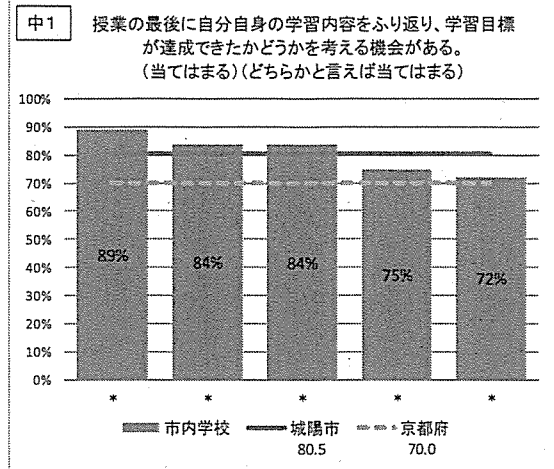
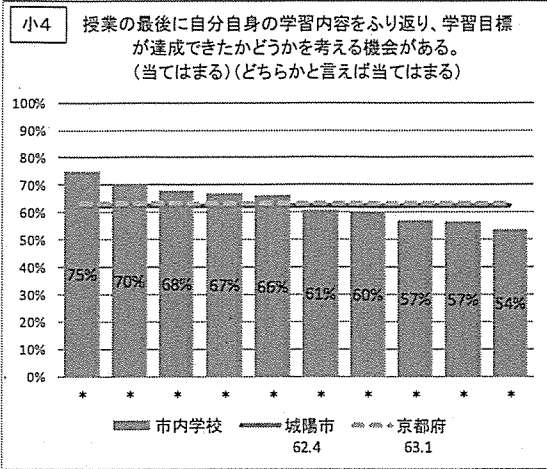




## 6 質問紙の調査結果

### (1) 授業について

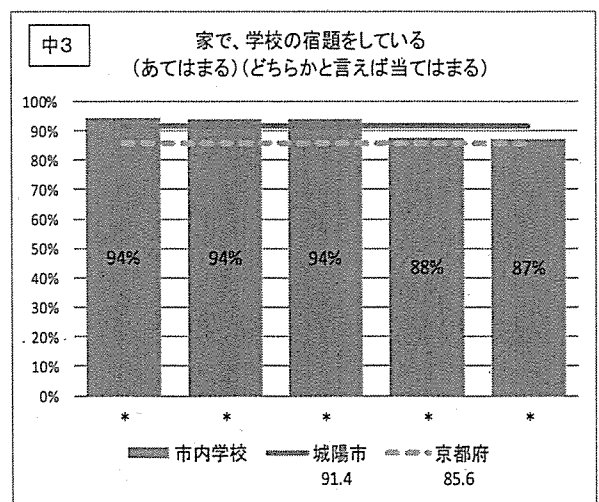
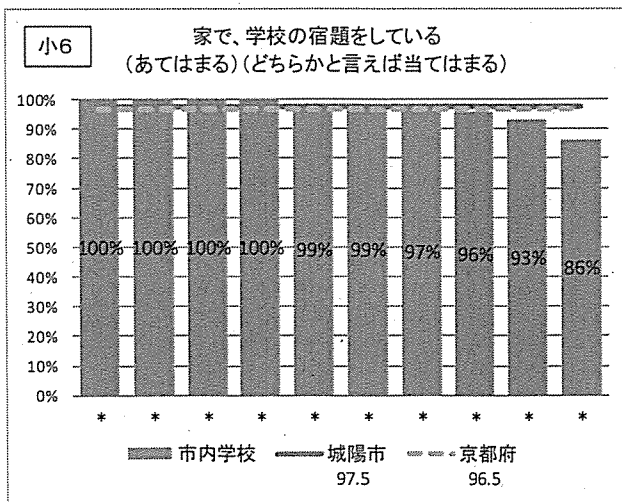
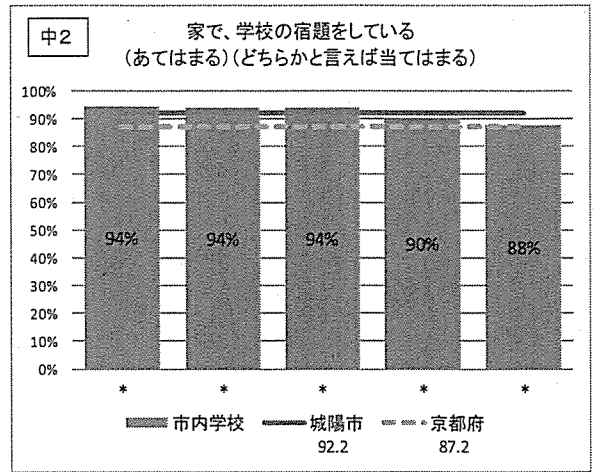
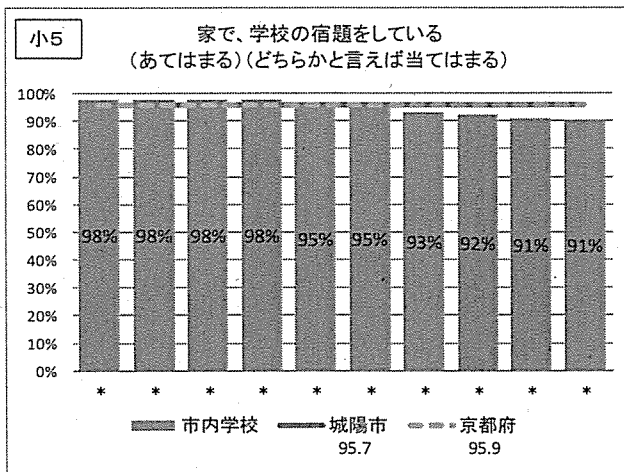
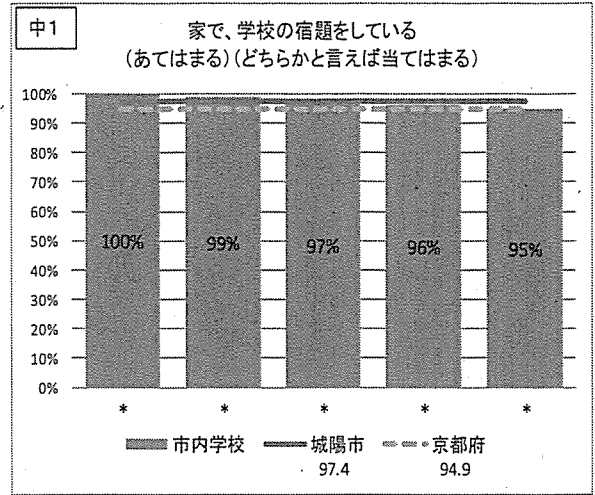
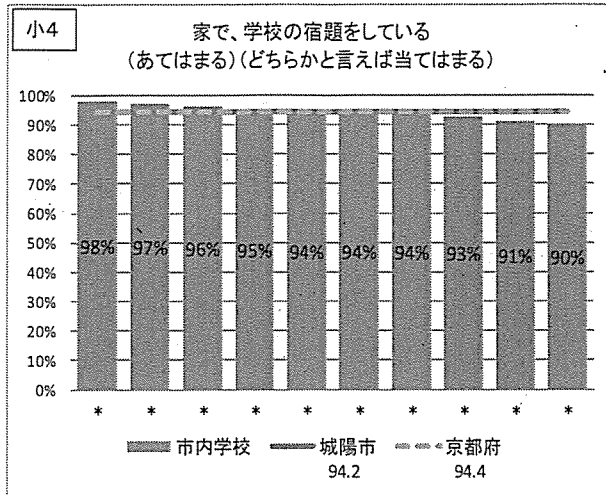


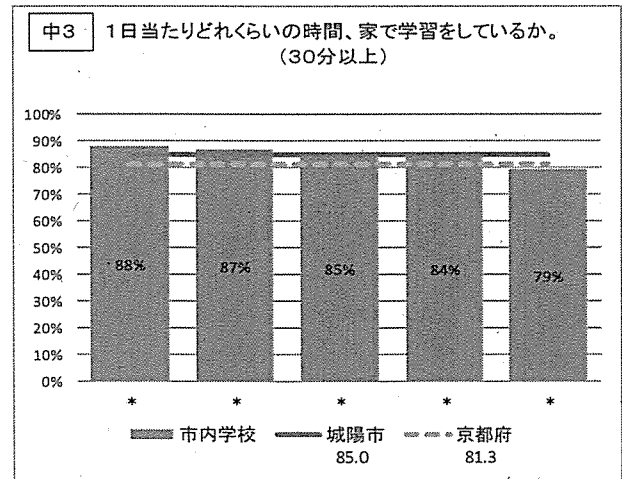
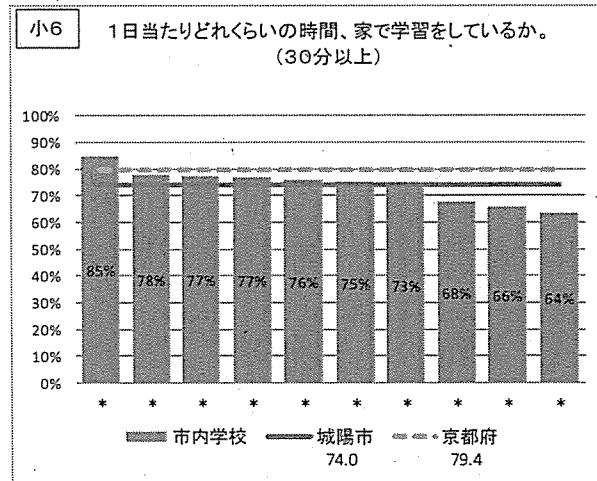
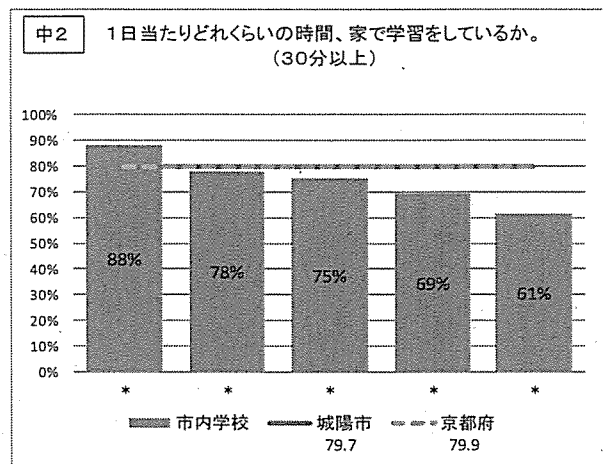
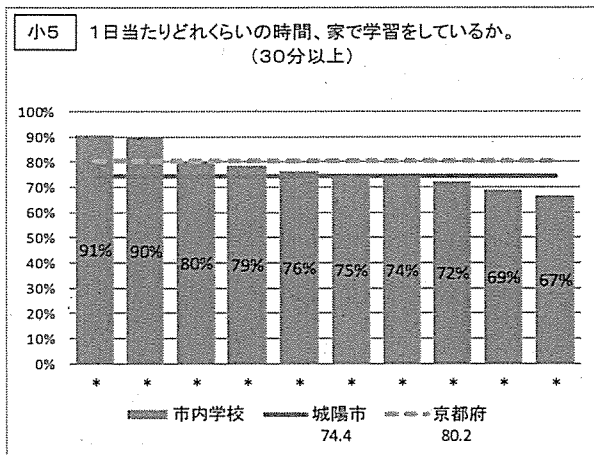
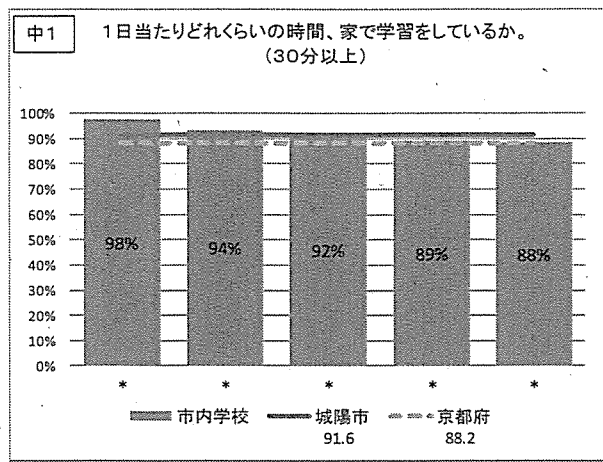
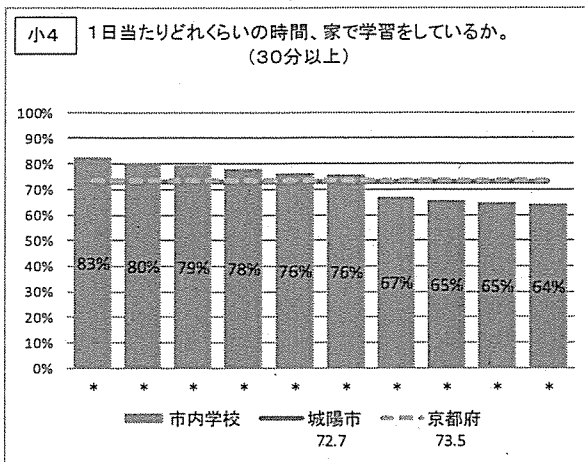


・上記の項目について、城陽市は京都府の平均に対して上回っている学年が多くなっています。学習内容を振り返り、学習目標が達成できたかどうかを考えている児童生徒は学年が上がるにつれて多くなる傾向にあります。「振り返り」を大切にしたい取組を進める中で、授業改善が充実してきていることが覗えます。

・今後も、学習の「めあて」が達成できるよう、「学び合い」や「振り返り」などの活動をさらに充実させていくことが大切です。

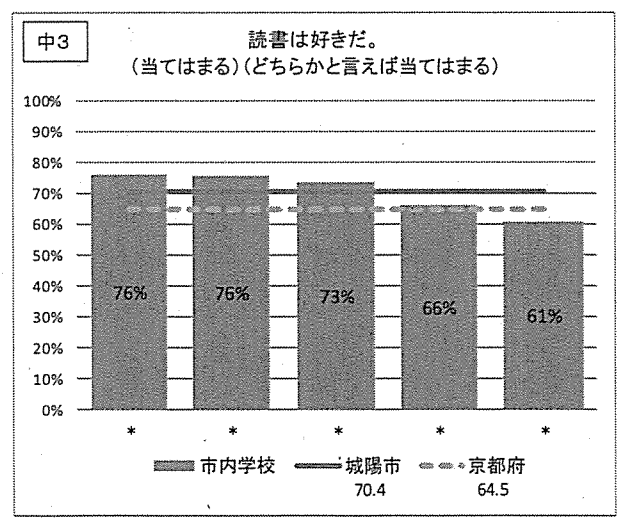
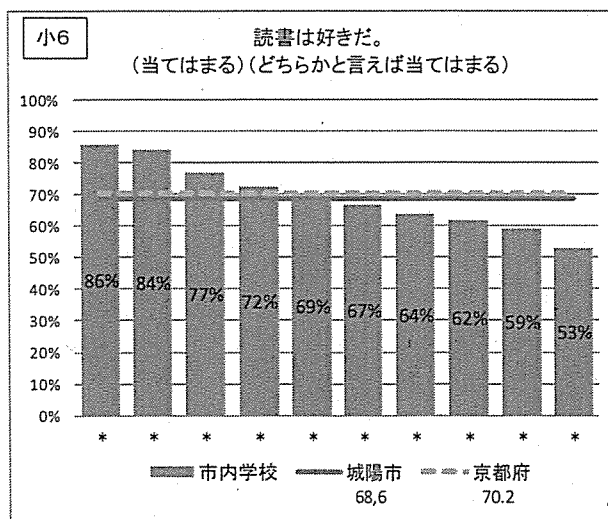
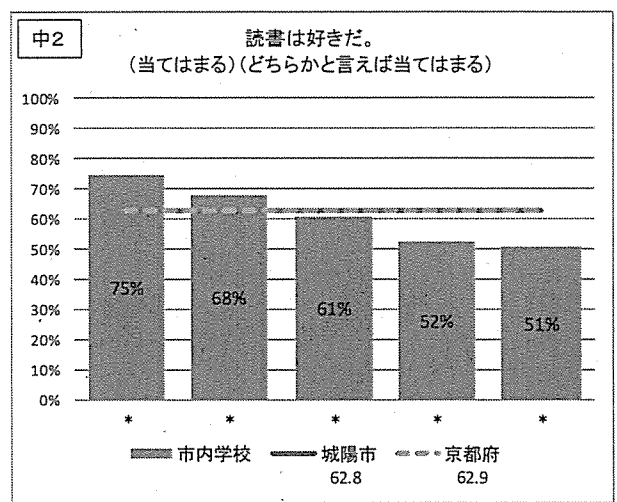
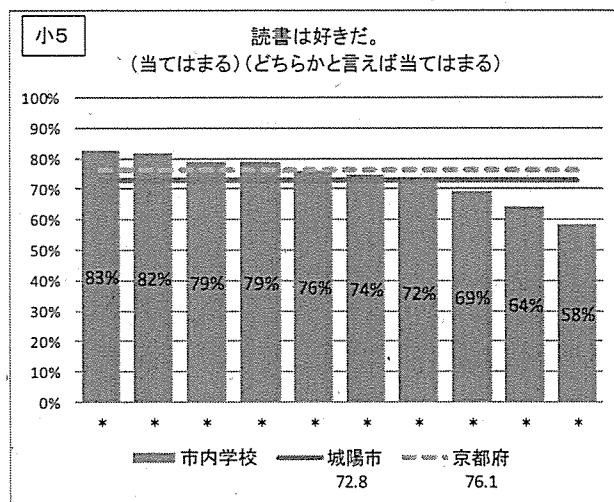
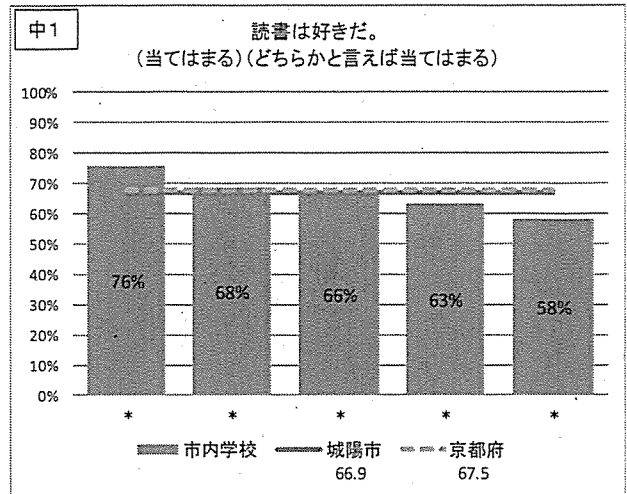
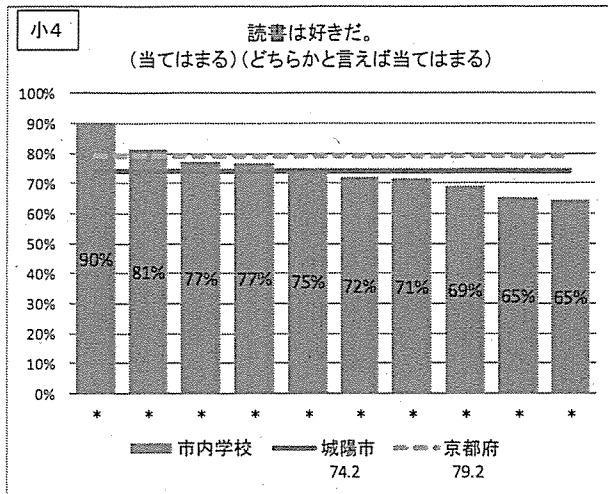
(2) 家庭学習について





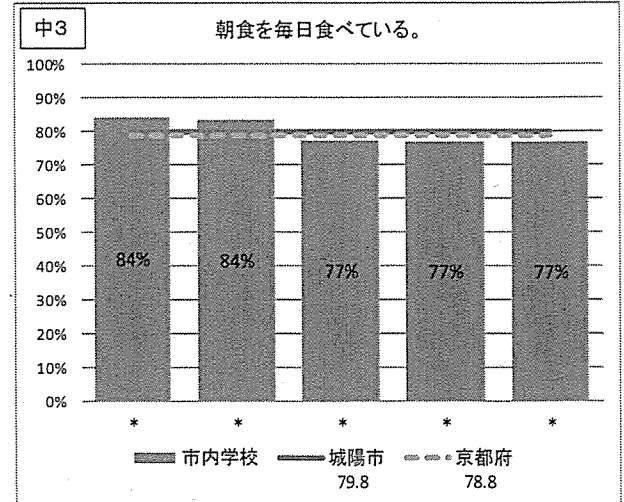
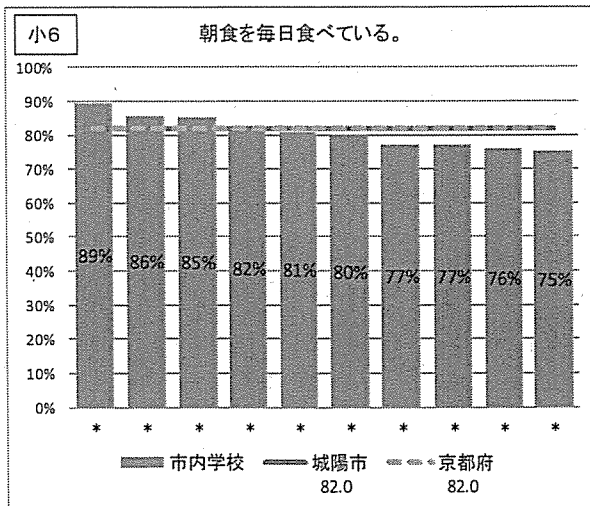
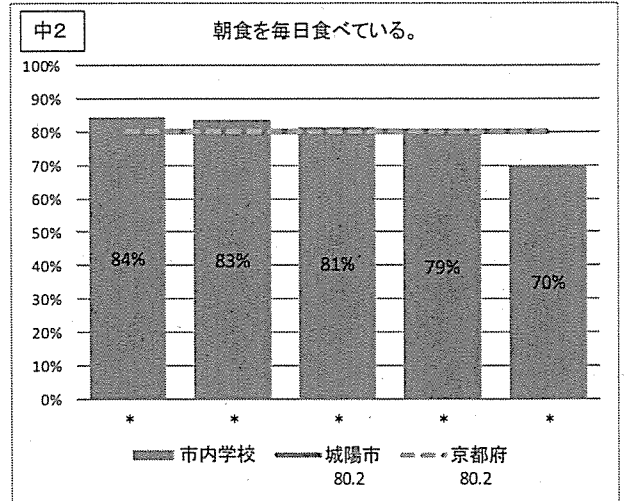
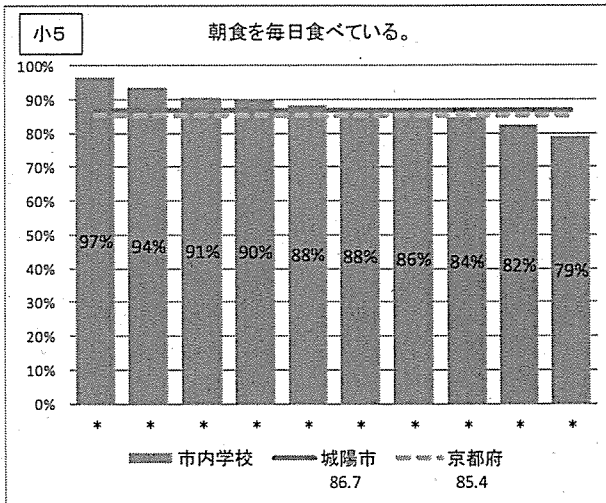
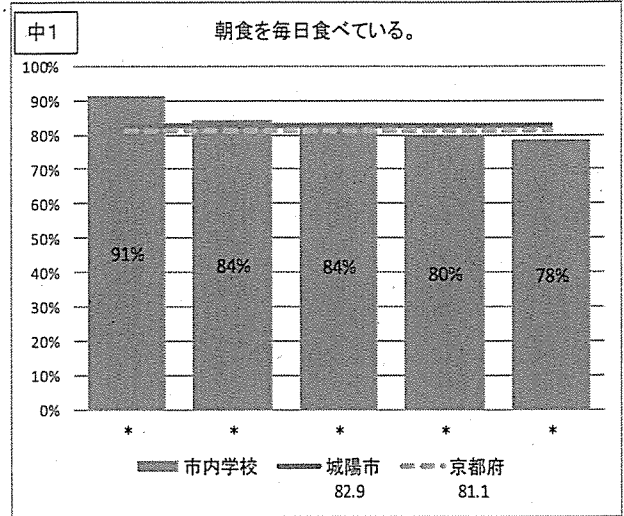
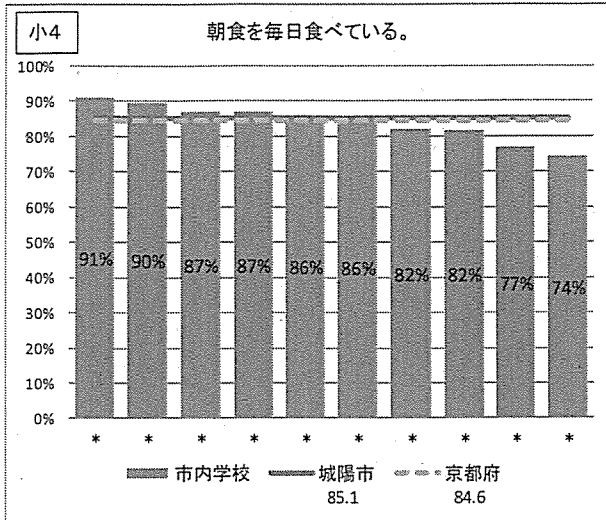
- ・「家で学校の宿題をしている」で「当てはまる」または「どちらかと言えば当てはまる」と回答した割合は、小学生では京都府平均とほぼ同程度、中学生では京都府平均を上回っています。
- ・「1日当たりどれくらいの時間、家で学習をしているか」については、「30分以上」と回答した割合が、小学校高学年で下回り、課題となっています。
- ・学習時間も含め、よりよい家庭学習の充実のために、各学校で作成している「家庭学習の手引き」を効果的に活用するとともに、授業と家庭学習をリンクさせ、学習意欲を向上させる取組を学校として構築することが大切です。

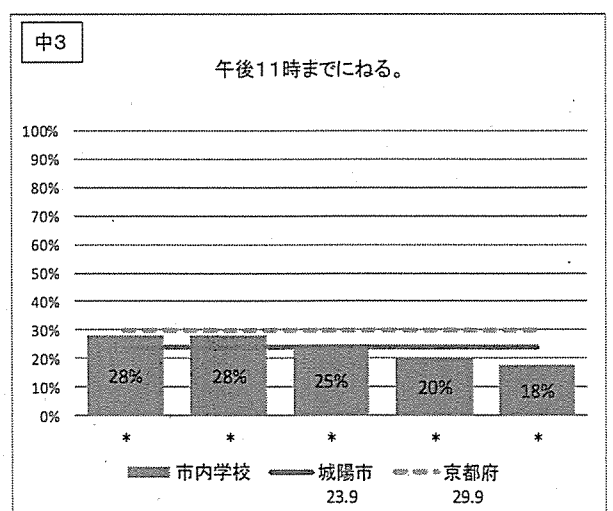
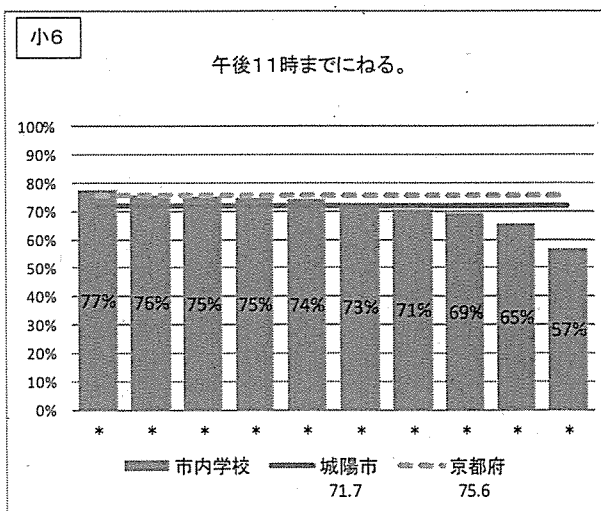
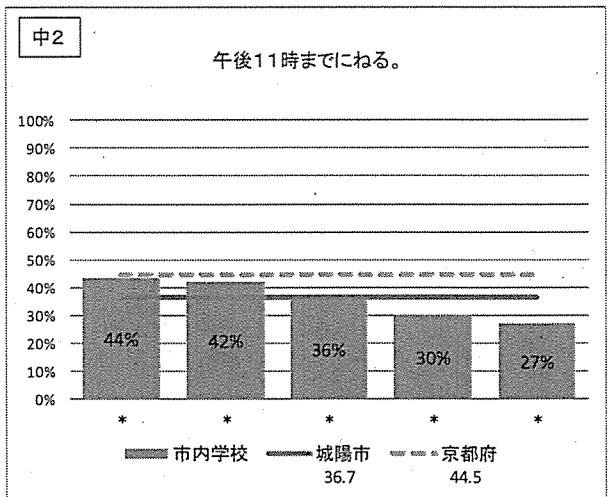
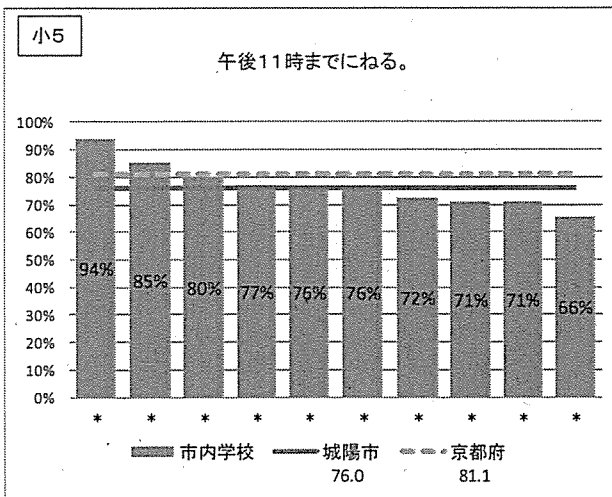
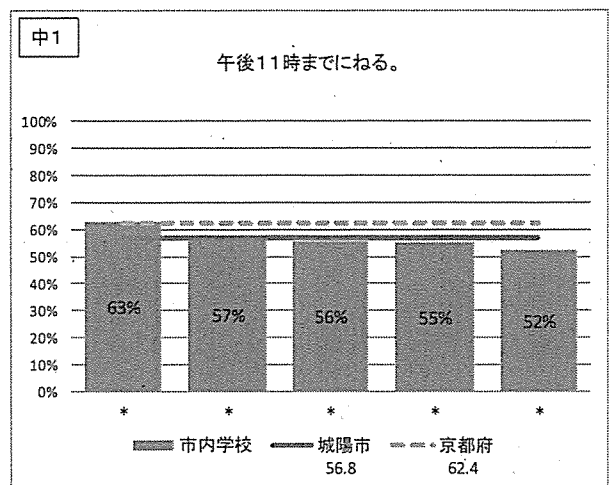
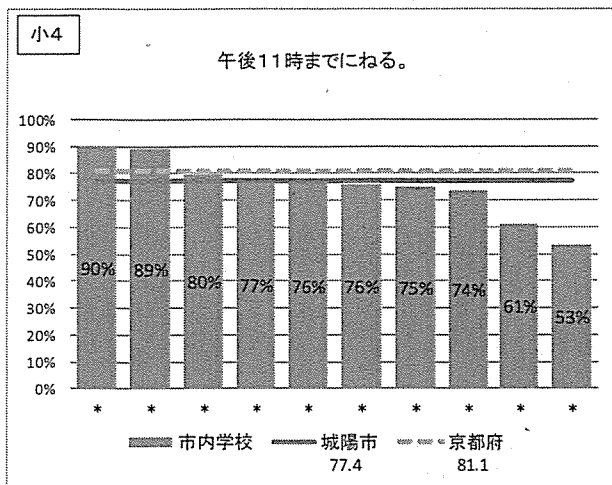
(3) 読書について



- ・「読書は好きだ」の問いに対し、小学生は京都府平均をやや下回り、中1・中2は、ほぼ同程度、中3は上回っています。
- ・読書の取組については各学校で工夫して実施されていますが、各教科で学んだ内容を本や図鑑で調べる等の活動を充実すること及び、学校の図書室や市立図書館を積極的・計画的に利用していくことが大切です。

(4) 生活習慣について

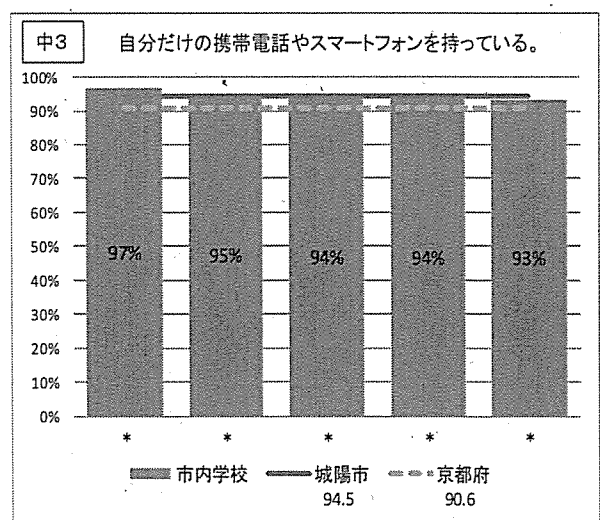
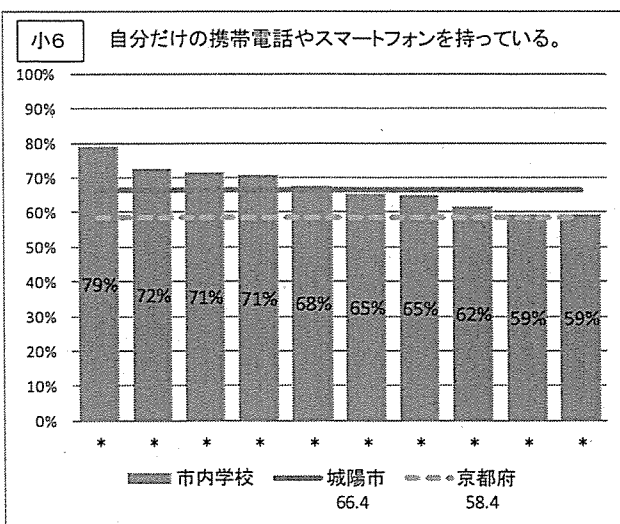
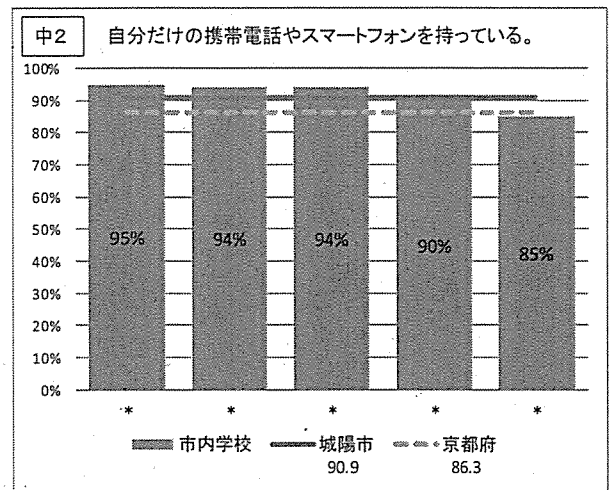
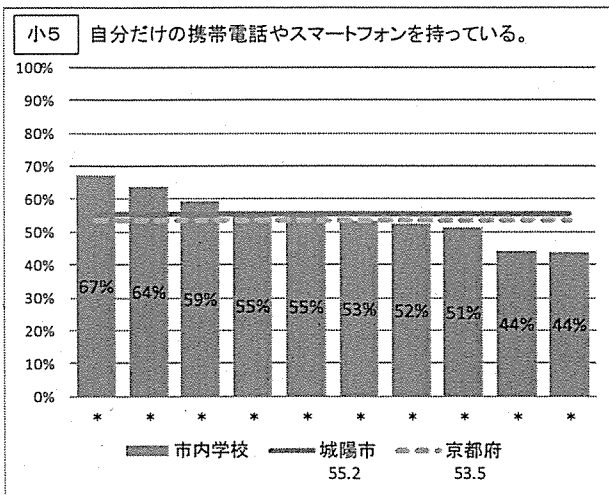
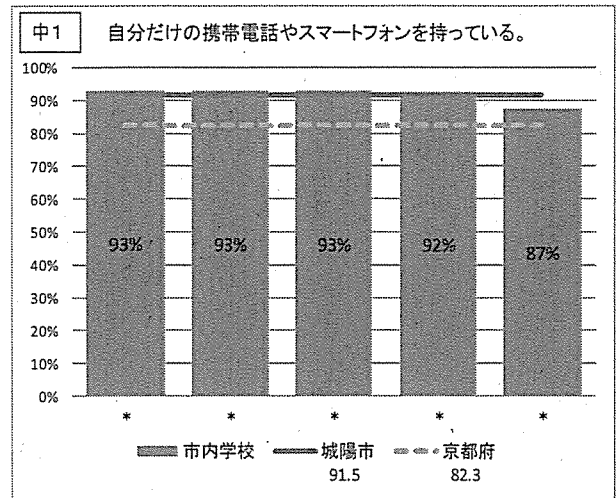
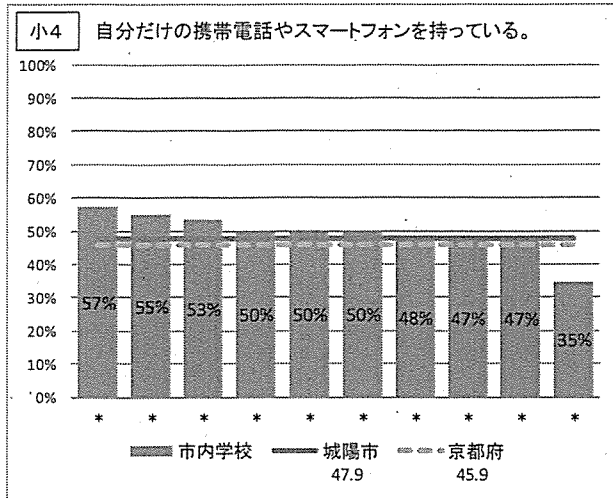




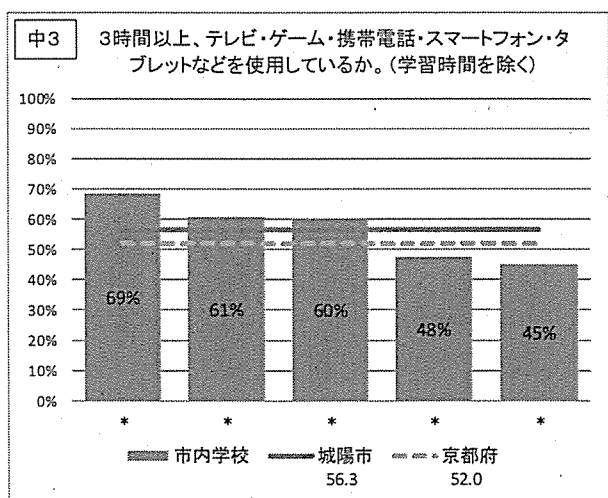
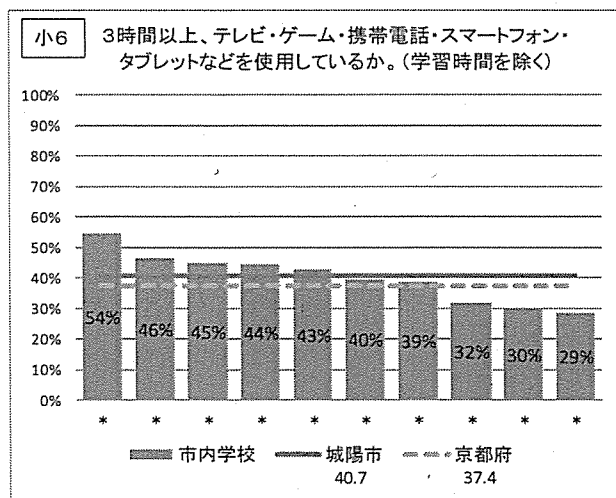
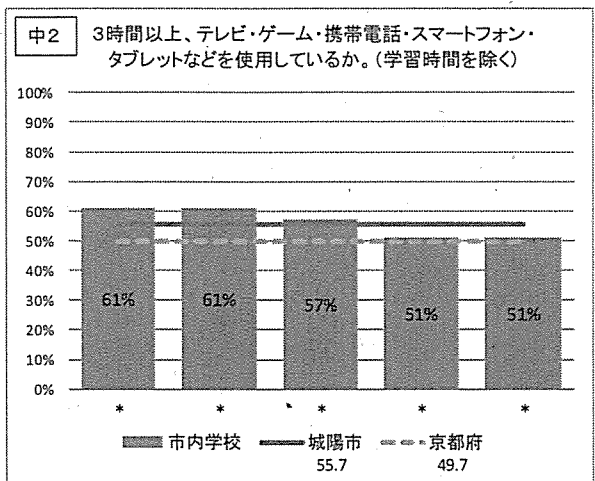
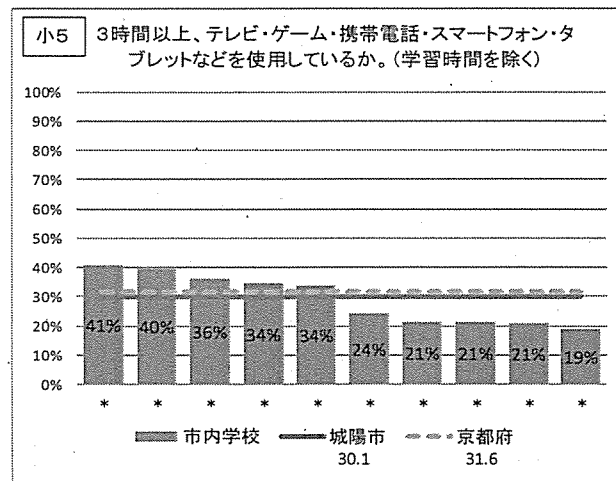
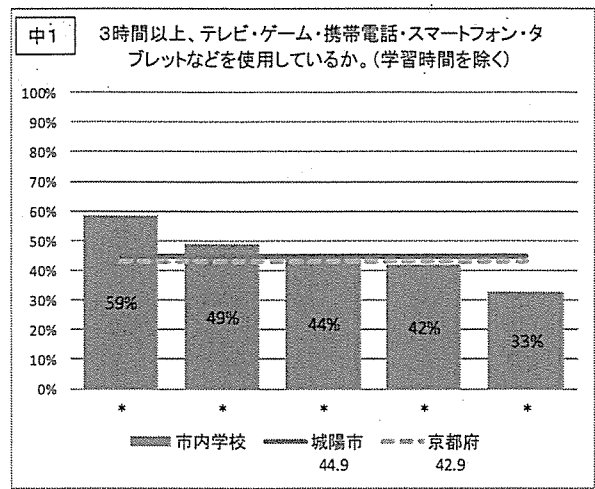
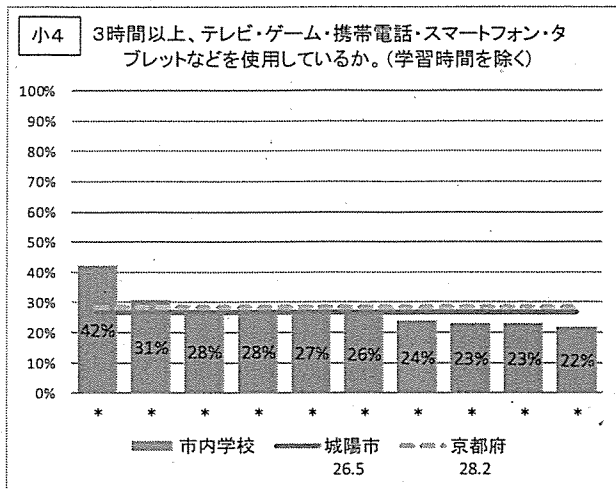
・「朝食を毎日食べている」の問いに対し、城陽市は京都府平均とほぼ同程度となっておりますが、学校間の差が大きいことが見受けられます。また、どの学年も就寝時刻が遅い傾向にあることにも課題があります。

・学力の向上についても基本的な生活習慣は大切です。学校における指導とともに、家庭との連携を密に取ることが大切です。

(5) 携帯電話・スマートフォン等について







・「自分だけの携帯電話やスマートフォンを持っている」は、どの学年も京都府の平均を上回っています。特に中学生になると割合が大きく増え、90%を超えています。また、「3時間以上、テレビ・ゲーム・携帯電話・スマートフォン・タブレットなどを使用しているか」の項目では、小6以上が京都府の平均を超えています。

・使用時間やルールを守る大切さについて、また、情報モラルの指導についても各学校で工夫して実施されていますが、今後も、子ども自身はもとより、保護者に届く啓発の工夫が求められます。